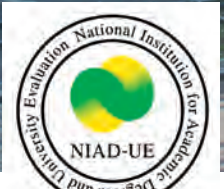




小樽商科大学

2016 大学案内



UNIVERSITY
ACCREDITED
Mar. 2010

君の力を、君と



北海道のマネジメント拠点に

グローバル化の時代において、将来の日本を支える人材育成が大変重要な課題となっています。本学では、平成25年8月に発表した「No.1 グローカル大学宣言」に基づき、時代の要請にこたえる人材育成を行っています。「グローバル」とは、グローバル（世界規模）とローカル（地域）の合成語です。北海道（ローカル）を軸足として、他の地域や外国との関係で（グローバルに）も

のを考え行動する人材（グローバル人材）の育成を目指そうというものです。大学のもうひとつの柱である研究の面では、基礎的な研究成果をもとに地域が抱える課題に取り組む実学的研究を一層推進する予定です。

これらは、いずれも北海道のマネジメント拠点となることを意味しているもので、過去から続いている本学のもつ大学の理念や、教育・研究の実績に基づき、現代と未来の地域や社会全体に活かす本学の大きな挑戦なのです。

教育改革：ABC・ラーニングの推進

本学は、現在、教育改革を進めています。改革の柱は、本学の伝統である実学教育を支える「ABC・ラーニング」を推進することです。ABC・ラーニングとは、①アクティブ(A)・ラーニング、②ブレンディッド(B)・ラーニング、③コミュニケーション(C)・ラーニングのことをいいます。これらは、主として教育方法に係わるものですが、まず、①アクティブ・ラーニングでは、学生の主体的・自主的な学びを促す方法（事前学習やティベートを取り入れた授業、双方向性授業、地域の企業や自治体と連携した課題解決型授業、インターンシップなど）を研究し実践します。②ブレンディッド・ラーニングとは、オンラインを使った自己学習と対面授業を組み合わせ（ブレンドした）実践的な語学教育方法のことです。③コミュニケーション・ラーニングは、大講義室でのアクティブ・ラーニングを目指すものです。これらの教育を行うために、最新のICT機器を備えた教室を整備しました（p4およびp11～12参照）。

アドミッション・ポリシー（抜粋）

小樽商科大学は、次のような人々を求めています。

- (1) 異なる文化・考え方を理解しようと努め、自己の能力を高める意欲を持ち、社会科学、人文科学、自然科学等を学ぶために必要な基本的知識を身に付けている人
- (2) 生涯を通じて学ぶことに意義を認め、新たな知識や世界に触れることに喜びを見出すことのできる人

小樽商科大学では、様々な社会現象や経済社会問題を対象として、新しい知識、理論、方法などを学びます。そのためには、入学以前には、特定の科目にとらわれない幅広い学習をしていること、学ぶ意欲を身につけていることが必要です。

われわれの社会は、文化、歴史、言語、IT、法制度、経済活動など多様な要素で成り立っています。入学前に幅広く勉強することは、一見無関係のように見えても大学で複雑な社会の仕組みを理解し、新しい知識・理論を学ぶ際に必ず役にたつのです。

入学後は、学生一人一人が、自主的に計画を立てて授業を受けなければなりません。

そのためには、学ぶ意欲が必要です。それは、入学前の幅広い学習を通じて、学ぶ習慣を身につけることにより生まれるものです。

小樽商科大学は、高校のカリキュラムが多様化し、異なった学習歴を持った受験生がいることに配慮した入学者選抜を行っています。また、経済的な理由などで働きながら学ぶ必要がある人、生涯学習を目指す社会人のために夜間主コースを設け、それぞれのニーズに合わせた入学者選抜方法を設定しています。

※アドミッション・ポリシーの全文は本学ホームページを参照してください。

<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/policy/undergraduate.html>

商学部の「ディプロマ・ポリシー」及び「カリキュラム・ポリシー」について

小樽商科大学は、明治44（1911）年、5番目の官立高等商業学校として創立され、昭和24（1949）年、戦後の学制改革に伴い小樽商科大学として単独昇格しました。本学は、創立以来、実学、語学、品格を教育理念とし、広い視野と豊かな教養並びに倫理観に基づいた深い専門的知識と識見を有し、現代社会の複合的、国際的な問題の解決に指導的役割を果たす人材を育成してきました。

○ディプロマ・ポリシー【学士（商学）】

本学は、豊かな教養と外国語能力を基礎とした深い専門知識を有し、グローバルな視点から地域経済の発展に寄与し、広く社会に貢献できる人材の育成を教育の目的と定めます。この目的のもと、本学は、設置された学科における所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた者に対して、学位を授与します。

1. 社会科学、人文科学、自然科学等の幅広い学問分野の知識を修得することで、広い視野及び豊かな教養と倫理観にもとづいて行動できる。
2. 経済学、商学、法学、情報科学等の学問分野において深い専門知識を有し、それらを組み合わせ実践的に活用することにより、実社会の様々な問題を自発的に解決できる。
3. グローバル時代に対応する実践的な語学能力を身につけ、世界の様々な文化を学ぶことにより、異なる文化を持つ人々と協調し十分な意思疎通ができる。

小樽商科大学の創造にかけてみませんか。

グローバル・マネジメント副専攻プログラム

教育改革のもう一つの柱は、今年度からスタートする「グローバル・マネジメント副専攻プログラム」です。このプログラムは、「グローバル人材育成」を目指したプログラムであり、地域志向教育、英語による経済経営科目の講義、海外留学などを組み合わせています。留学に関しては、返還を要しない給付型奨学金が与えられます（p3,24参照）。

以上のようなABC・ラーニング、グローバル人材育成を全学的に推進するために今年度「グローバル戦略推進センター」を新たに立ち上げました。

学生として、そして人間として

本学の教育理念は「実学、語学、品格」です。「実学」は、幅広い分野の知識に支えられた自己の専門分野の深い学識と、それらの知識を使って様々な課題に取り組む能力と意欲を育てることです。また、「北の外国語学校」と呼ばれるほど、本学は、語学教育が盛んなことで知られ、「語学」は、実学とともに本学の教育の根幹をなしています。

そして、100年以上にわたり本学が求めてきたのは、知識や能力だけでなく、高い識見と教養を併せ持ち、社会のリーダーになるにふさわしい「品格」を備えた人材の育成です。そのために、本学では、語学教育を含めた幅広い教養教育に力を入れてきました。また、「品格」は、独立した人格を尊重し、学生を大切にすることのなかから生まれるものです。

小樽商科大学の特徴

本学は、商学部のみ単科大学です。言語・人文・社会・自然科学の諸分野の教員のもと、学科の垣根がなく、教員どうし、教職員と学生の間で自由闊達な交流が行われています。「商学」を、単にビジネス、経営、マーケティングにとどまらず、様々な分野の知識・理論を融合した「実践的・応用的総合社会科学」としてとらえています。そのため、教員は連携して教育にあたり、学生は、所属する学科での専攻を越えて、幅広い分野の学問を学ぶことができます。さらには、専門分

野を超えた交流のなかから、社会の課題を多様な分野から考察する学際的な研究も生まれています。

現在は、大学の人材育成機能の向上、教育の質の保証が問われる時代になっていますが、本学はそれをなし得る大学であると言えます。

一緒に創造しよう

「実践から学ぶ」ことは本学のDNAのようなものであり、学生諸君は入学し大学生活を送るうちに、自然とこのDNAが組み込まれるにちがいありません。他方で、最近の学生諸君のなかには、興味のわからないこと、面倒なこと、自分の利益にならないことは避けようとする傾向が見受けられるのが心配です。大学生活において意味のないことはほとんどないと思います。そこには、成長につながる経験や知識が必ずあるはずで、いろいろなことに挑戦し、たくさんの本を読んでもらいたい。そしてことばや文章から感動や生きる力を引き出せる人間にもなってもらいたいと思います。

私は、学生諸君と一緒にあって小樽商科大学を作っていくことが望みます。小樽商科大学が何をしてくれるのかということだけではなく、小樽商科大学のために何ができるのかということも考えながら大学生活を送ってほしいと考えております。君の力を、君と小樽商科大学の創造にかけてみませんか。

○カリキュラム・ポリシー 【商学部】

本学は、「ディプロマ・ポリシー」に掲げた人材を育成するために、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成します。

1. 教養教育と専門教育を有機的に連携させ、学科の枠組みを越えた学習及び基礎から応用への段階的学習を可能とするカリキュラムを編成することにより、深く、且つ幅広い知識を有する人材を育成します。加えて、副専攻プログラムを導入し、国際性・地域性を更に強化します。
2. 実学教育を推進するために、企業や地域・社会と連携して進める授業科目を配置し、実践やグループワーク・PBL（課題解決型学習）等を取り入れた自律的に学ぶ授業形態を積極的に導入します。
3. 本学伝統の語学教育を更に継承・発展させ、現代国際化社会に対応する多様な外国語科目を配置します。のみならず、専門教育においても、グローバル人材育成のための授業科目を配置します。

小樽商科大学長 和田 健夫

和田 健夫



小樽商科大学 5つの

挑 戦

Otaru University of Commerce

小樽商科大学では、平成25年に「No.1グローバル大学宣言」を行いました。グローバル時代の地域（北海道）マネジメント拠点としてのグローバルな視点を持ち、北海道経済の発展に貢献できる人材を育成するために、5つのプログラムを策定し、大学全体が一丸となり取り組んでいます。

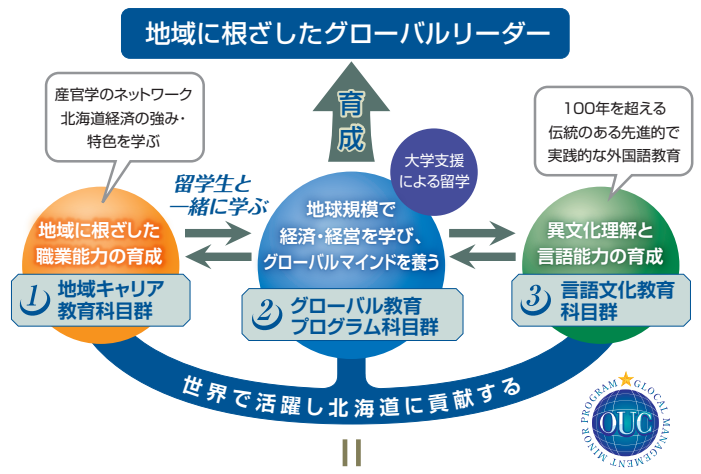
1

北海道で唯一のグローバルビジネス教育プログラム

グローバルマネジメント副専攻プログラム



グローバルとは、グローバルとローカルを掛け合わせた造語で、グローバル（地球規模）の視野で考え、ローカル（地域視点）で行動するという意味合いです。本プログラムでは、地域に軸足を置いて世界で活躍するリーダーを育成。実社会で役立つビジネス教育や語学教育の伝統と産官学のネットワークを活かして学習する戦略的なカリキュラムです。現代社会において、商社や海外展開を予定しているグローバル志向の企業などで活躍できる人材を育成します。



グローバルマネジメント副専攻プログラム

新たな給付型の海外留学奨学金の創設！

S38年卒 元日本オラクル会長 佐野 力 氏による留学の支援寄付を受けます。

2

本学開学以来の伝統

実学教育



本学の教育コンセプトであるT型人材の育成（P5参照）を通じて実現される学びを「実学教育」と呼んでいます。具体的には、平成21年から正課科目として取り入れられた、課題発見型教育「地域連携キャリア開発：通称マジプロ」や、小樽の名物を研究し、学生自ら取材・編集して本を出版したゼミなど。学内の電子掲示板のコンテンツを開発した学生ベンチャー企業をはじめ、ゼミが発展して起業に至るなど、学生自らが経営者として活動しているゼミもあります。

実践的ゼミナール事例1

ご当地グルメアレンジレシピを開発

東洋水産株式会社と連携して「あんかけ焼そば」のアレンジレシピを考案しました。オリジナルPOP・チラシを制作するとともに、大手食品スーパーや報道機関を通じて広報活動を行い、小樽市内におけるご当地グルメの普及に取り組みました。



実践的ゼミナール事例2

江頭ゼミの『小樽あんかけ焼そば事典』作成プロジェクト

江頭ゼミナールは経済学を専攻するゼミナールです。『小樽あんかけ焼そば事典』は、学生たちが小樽の街に出て、街に暮らす人々と向き合うことを目的として作成されました。

編集活動や販売活動を通じて、小樽の街で営々と伝統の料理を守ってきた料理人の方々や、あんかけ焼そばにまつわるいろいろな想い出を抱えた皆さんとの交流の中で、学生たちは社会人となる上で必要な知識やマナー、そしてプロジェクト管理の大切さを身につけることができました。



3

次世代型教育のフロントランナー

Active Learning/ Communication Learning

アクティブ・ラーニング/コミュニケーション・ラーニング



ALとは、課題研究やPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）、プレゼンテーションなど、学生が主体となり授業に参加する「能動的な学習」を指します。本学では平成24年4月より、「10年後のスタンダード」を目指し、新しい教育手法に対応する教室のAL化や教授法の研究を進めています。CLは「大講義室でのアクティブ・ラーニング」を可能とするための教育の手法です。最大の収容人数を誇る講義室を含む計3講義室のCL化が完了しています。

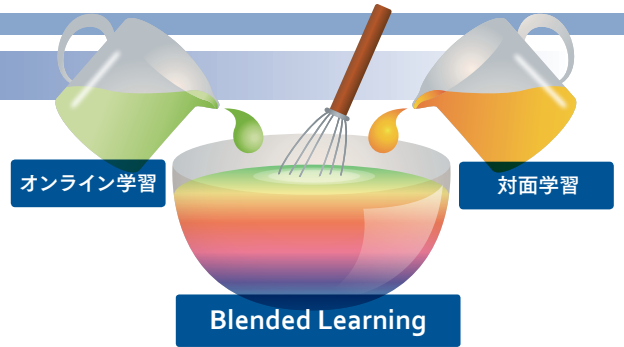


4

「北の外国語学校」と謳われた本学の新たなる挑戦

Blended Learning

ブレンディッド・ラーニング



BLとは、オンラインを使ったself-access（セルフアクセス）による学習と、face-to-face（フェイス・トゥ・フェイス）による対面型の授業をブレンドした新しい授業形態を指します。本学の実践型BLは、独自のデジタルコンテンツ作成、双方向通信の導入、異文化ビジネス教育の展開により、卒業までに海外のビジネスの現場で活躍できる実践的な語学力を身につけることを目指しています。

小樽商科大学のBlended Learningでは...

- 外国語や外国文化に関する基礎知識はオンラインで学習し、授業ではディベートやスピーチといった実践的トレーニングを中心にを行います。
- トレーニングではiPadやタブレットをフル活用し、語学の習得に大切な聴覚・視覚にダイレクトに訴えます。
- LMS（ラーニング・マネージメント・システム）を通じて学生の理解度を確認し、一人ひとりの学習力に対応して授業を進めます。
- 身近な出来事からスポーツや映画、あるいはビジネスや政治・社会など、世界の出来事をオンタイムで取り上げ、教室をミニ・グローバル化します。
- 知識習得が従来の教室からオンライン配信に代わるので、いつでも、どこでも、授業の予習・復習が可能です。

5

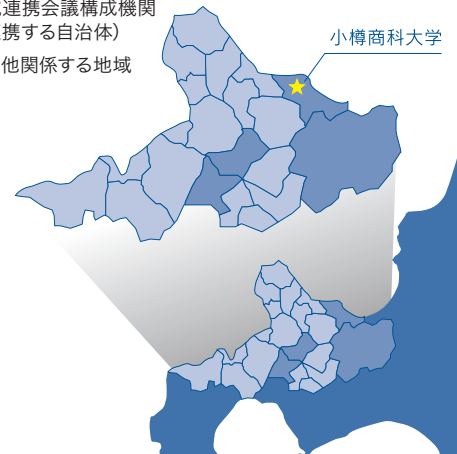
地域と共創する北海道経済活性化モデルと人材育成

地（知）の拠点整備事業



「地（知）の拠点整備事業」とは、自治体と連携して地域の課題解決に取り組む大学を国が支援し、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図るものであり、本学は、平成25年度に採択されました。本事業では、「しりべし地域」を中心に、観光を軸とした地域振興策を展開するとともに、地域視点と国際的な視点を併せ持つ人材を育成する教育改革を進め、地域に欠かせない大学として、北海道経済の活性化を目指します。

■ 地域連携会議構成機関（連携する自治体）
■ その他関係する地域



地域と世界を結びつける人間力のある人材を育成します

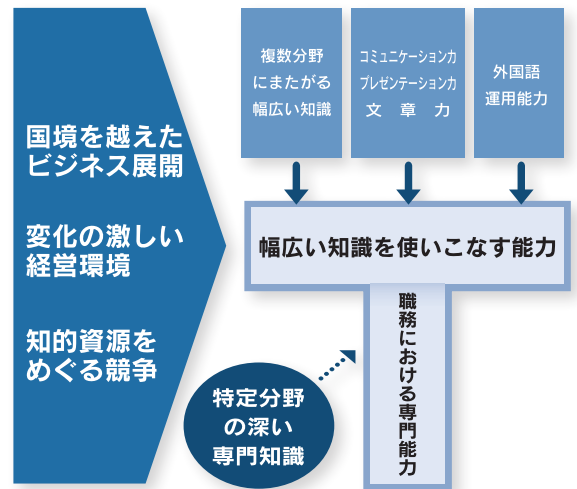
T型人材の育成

日本の企業や自治体には、めまぐるしく変化する状況のなかで、国境を越えて活動することが求められています。こうしたグローバル時代に活躍するのが「T型人材」です。T型人材とは、「特定の分野に関する深い知識・能力(Tの縦軸)」と、「幅広い知識を使いこなす能力(Tの横軸)」とを併せ持つ人材を意味します。

グローバル時代においては、自分の得意分野の知識に加えて、色々な知識を複合的に活用し、様々な状況に対応する能力が求められているのです。

例えば、法学が専門だからといって、法律分野で深い知識を持っているだけでは十分とは言えません。複雑なビジネスの世界の中で生きていくには、経済やコンピュータの知識も必要です。相手とスムーズにコミュニケーションできる能力も不可欠です。また外国企業を相手にする場合には、外国語の能力が求められます。

つまり、変化の激しいグローバル社会で活躍するためには、「専門能力(T型の縦軸)」と、「幅広い知識を使いこなす能力(T型の横軸)」の双方を習得する必要があります。



実学を通じたスキルの習得

本学では、グローバル時代に対応しうる人材、すなわち「T型人材」の養成を目指し、以下のような教育を提供しています。

特徴1：幅広い知識

学問横断的な幅広い選択肢の中から専門分野を選ぶことができます。

他大学では、経済学部では経済学、法学部では法学に関する授業が中心に提供されています。本学では、「商学部」の中に経済学、商学、法学、情報学、教員養成、言語文化、人文・自然科学という幅広い学問分野が揃っています。学生は、これらの分野の中から自分自身の「専門分野」を深く学ぶと同時に、他の多様な分野の中からも科目を選択し、幅広い知識を身につけることができます。

特徴2：実践的スキル

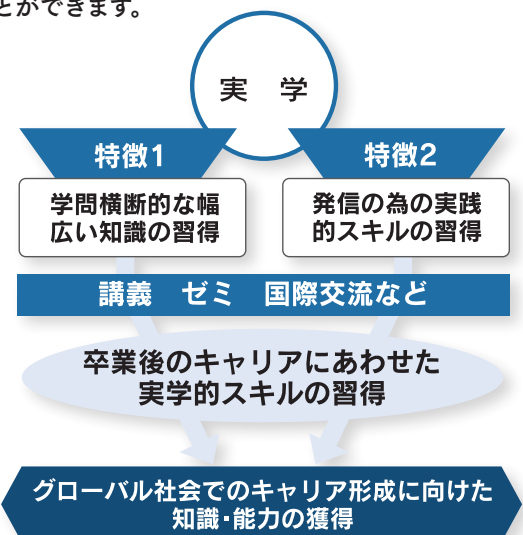
グローバル時代に即戦力として通用するための「実践的スキル」を習得することができます。

本学は、そのために以下のような取り組みを行っています。

- 実践や地域・企業との連携を取り入れた授業科目の提供
- ゼミナール教育の重視
- 語学教育の充実
- 国際交流・留学制度の充実
- 課外活動の促進

特定の専門分野の知識を頭に入れるだけではなく、コミュニケーションする力・プレゼンテーションする力・論理的な文章を書く力・外国語を運用する力といった情報発信の力を併せて養い、専門分野の知識と組み合わせて実践的に活用する能力を身につけることができます。

本学では、これら2つの特徴を通じて実現される学びを「実学」と呼んでいます。特定の専門分野の知識を、社会における事例や実践と組み合わせて学ぶ。それにより、高度な専門知識が身につく、真に実用的な知識となるのです。



具体的なキャリアデザインにあわせた授業科目の履修例を紹介します。これらは小樽商科大学の履修の一例です。ここに掲載されたもの以外にも、一人一人のビジョン(目的)に沿った科目選択が可能です。

CASE

1

インターネット ビジネス に関わりたい場合

知的財産法, 商法

マーケティング

情報処理,
コンピュータネットワーク論

社会情報学科における「情報処理」「コンピュータネットワーク論」に関係した科目を柱として、企業法学科の「知財法」や商学科の「マーケティング」で補うことが可能です。

CASE

2

国際的なビジネス に関わりたい場合

国際経済学

ビジネス英語
ほか

国際取引法

国際マーケティング
国際経営論

「国際マーケティング」「国際経営論」といった商学科科目を中心に、経済学科の「国際経済学」、言語センターの「ビジネス英語」「英語コミュニケーション」、企業法学科の「国際取引法」などの科目を履修することが可能です。

CASE

3

金融関係の ビジネス に関わりたい場合

国際金融と世界経済
金融論, 現代ファイナンス理論

商法, 経済法

金融市場論,
銀行論, 保険論

金融関係を志望している場合は、商学科の金融関連科目を中心として、経済学科の「国際金融と世界経済」や企業法学科の「商法」などを学びます。

CASE

4

製造関係の ビジネス に関わりたい場合

ミクロ経済学,
統計学

知的財産法

オペレーションズ・
リサーチ(OR)

経営管理論,
マーケティング

「経営管理論」や「マーケティング」などの商学科科目を中心として、経済学科の「ミクロ経済学」「統計学」、企業法学科の「知財法」、社会情報学科の「OR」などを履修します。

CASE

5

公務員 になりたい場合

経営管理論

社会学, 政治学

マクロ経済学,
財政学

民法, 行政法, 憲法

公務員試験に関連する企業法学科の「民法」「行政法」「憲法」を中心に、商学科の「経営管理論」、人文・自然科目の「社会学」「政治学」、経済学科の「マクロ経済学」「財政学」などを履修していきます。

CASE

6

公認会計士 になりたい場合

マクロ・ミクロ経済学

民法, 商法, 租税法

簿記, 財務会計論,
原価計算論

公認会計士試験の中心となる商学科の「簿記」「財務会計論」「原価計算論」を核として、経済学科の「マクロ経済学」「ミクロ経済学」、企業法学科の「民法」「商法」「租税法」を履修していきます。

社会科学を基本分野とし、人文・自然・健康・外国語の各分野を幅広く学びます

小樽商科大学は、国立では唯一の商科系単科大学ですが、専門4学科（経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科）の他に、一般教育等と言語センターという教員組織があります。専任教員の数は合わせて120名ほどです。

商学部という単一の学部のなかに、経済学・商学・法律学・情報学という社会科学の基本分野の他に、人文科学・自然科学・健康科学・外国語などの幅広い分野の授業科目が置かれ、すべての教員が1年から4年までの教育（教養・語学教育と専門教育）を行っている点が、総合大学の経済学部・経営学部にはみられない特徴です。

カリキュラムも、それに応じて多様で柔軟な内容になっています。

充実した教養・語学教育

戦前は、北海道で唯一の文化系高等教育機関であった本学は、伝統的に教養・語学教育が充実し、「豊かな教養と倫理観」（本学学則第1条）を育てることに貢献してきました。そのため本学には人文科学・自然科学・健康科学・外国語などの幅広い分野の授業科目が設けられています（「共通科目」）。これを主として担当するのが、先に述べた一般教育等と言語センターの教員です。

本学は、また、語学教育の伝統でも知られています。他大学に類のない7つの外国語科目が開講され、しかも、外国語を教養として学ぶだけでなく（1・2年生）、関心のある学生は、3・4年次においてもより高度で実践的に学べるように科目が設定されています（「専門共通科目」）。

本学は、入学直後の学生に大学での学びへの導入を行う、いわゆる初年次教育にも力を入れています（共通科目・基礎科目の「知（地）の基礎系」科目）。ここでは、一般教育等、言語センターだけでなく、専門4学科の教員、さらには外部講師（地域の人々、企業人、OB・OGなど）も加えて大学全体として取り組んでいます。

学科を越えた学習が可能

学生は、2年生になるときに、専門4学科のいずれかに所属します。学科に所属することは、自分の専攻分野が決まることを意味します。2年次以降の学習は、所属する学科の科目（「学科科目」）を中心に行われることとなりますが、自分の関心に応じて他学科の科目を履修することも可能です。その一部は卒業に必要な単位に含めることができます。

マルチな専門科目

一般教育等と言語センターの教員は、教養教育だけでなく、専門4学科と並んで専門教育も行っています。

学生は、所属する学科の科目と並んで、人文科学・自然科学・健康科学・外国語の各分野の専門的な学習を目的とする科目（「専門共通科目」）を履修することができます。このことによって、習得する知識・理論の幅が広がり、「広い視野と深い専門的知識」（本学学則第1条）の習得に役立っています。

経済学・商学などを学びながら英語の能力を高める

たとえば、英語が好きで、大学で英語の能力を高め、キャリアに役立てたいと考えている学生にとっては、本学の専門教育のマルチぶりは有益なのではないのでしょうか。

学科に所属して経済学・商学などを学びながら、①3・4年生になっても英語の専門科目で勉強を続け、さらに、②短期留学プログラム科目を履修して外国人留学生と一緒に勉強し、③交換留学制度を利用して留学する、などの方法で、4年間を通じて英語の能力を磨くことができます。

ゼミナールでは多様なテーマが選べる

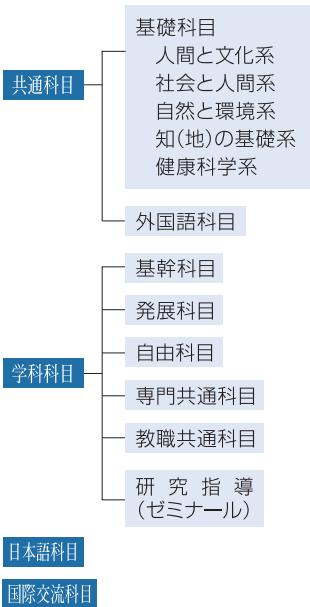
学生は、3年生になると原則として、自分の所属する学科の教員のゼミナール（科目名「研究指導」）を履修しますが、他の学科の教員の研究指導を履修することも可能です。また、一般教育等と言語センターの教員も全員ではありませんが、毎年ゼミナールを担当しています。そして、学生はどの学科に所属していても、それらを自由に履修することができます。ですから、たとえば、企業法学科で法律の勉強をしながら、ゼミナールでは、心理学の教員のもとで研究するということが可能なのです。



【授業時間】

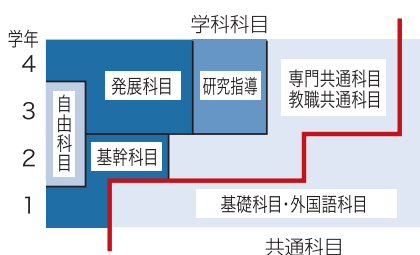
| 昼間コース | 夜間主コース |
|------------------|------------------|
| 1 講目 8:50~10:20 | 6 講目 17:45~19:15 |
| 2 講目 10:30~12:00 | 7 講目 19:25~20:55 |
| 3 講目 12:50~14:20 | |
| 4 講目 14:30~16:00 | |
| 5 講目 16:10~17:40 | |

【科目構成】



【くさび型カリキュラム】

カリキュラム上は、共通科目は、1・2年次に開講され、そのなかの一部が3・4年次に専門科目として開講されます。逆に、学科科目は、若干のものが1年次に開講され、学年が進行するに従って、より専門的に学ぶように科目が増えています。これをくさび型カリキュラムといいます。



実業界に強いタフな人材を育成する キャリア教育プログラムを実践しています

一般にキャリア教育とは、職業に対する意識や職業に関する知識・技能を高め、進路を選択する能力・態度を育てる教育のことだとされています。人はだれでも、職業を持って働かなければなりません。また働くことは、人間的な成長を遂げるために不可欠なことです。本学のキャリア教育は、それらに加えて学生の学び力を伸ばしタフな人材を育てることに力を入れています。学び力とは、あらゆる学びの場面において主体的で明瞭な動機を持ち続ける力のことで、それを育成することが、本学のキャリア教育の基本理念です。

職業意識・職業に関する知識も、進路選択能力も、そこに到達するためのエンジンが必要で、それがまさに学び力なのです。これは、本学が開学以来目指してきたことでもあります。その意味では、本学のキャリア教育は、本学の教育目的そのものということができます。

小樽商科大学 大学生の就業力育成支援

キャリアデザイン10年支援プログラム[※]

本学のキャリア教育は、いわゆる“採用内定”のみを目的とした就職支援ではなく、本学で学んだ学生が将来にわたって豊かな職業人生を送るための充実した学びと幅広いネットワークの形成を軸とした真の就業力の育成に力を入れています。全学を対象としたキャリア教育プログラムでは、入学直後の「ルーキーズキャンプ（キャリア教育導入合宿）」に始まり、就職内定後の「キャリアデザインプロジェクト（社会人0年生研修）」まで、在学中の4年間に学生が主体性を持ち自律的にキャリア形成を行うことができる力を育成しています。

本学入学を志願する方々には、“合格”を目的とした大学受験ではなく、将来の夢や目標を視野に入れ、その目標を実現するための強い意志と意欲をもって本学に入学していただきたいと考えています。そのために本学では、大学入学前のキャリア支援と位置づけた「高校生のためのアクティブ・ラーニング（AL）（夏期連続講義）」などを通じて、本学での学びとそ

の先を開ける職業社会を実感していただく高大連携活動も積極的に展開しています。さらに、実業界に広く強靱なネットワークを有する本学同窓会の公益社団法人緑丘会と連携した「エバーグリーン講座」や「企業セミナー」、企業やNPOと連携して地域の課題解決に取り組む「地域連携キャリア開発」（通称：マジプロ）など、本学独自のキャリア支援にも取り組んでいます。

これら小樽商科大学のキャリア教育の中で受け継がれているものは、“実学実践”を教育理念として掲げ、開学以来の長きに亘って培ってきた「商大のDNA」と言っても過言ではありません。

※ここで紹介したキャリア教育の取り組みは、在学4年間に加えて入学前と卒業後も視野に入れてキャリア支援を行う「小樽商科大学キャリアデザイン10年支援プログラム」の一部です。（同プログラムは、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業（H22-23）」ならびに同省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（H24-26）」に採択されました。）

*1 平成28年度からは、「社会連携実践Ⅰc、Ⅱc、Ⅲc」に科目名称が変更になります。

キャリア教育プログラム 科目

| 科目名等 | 内 容 | 配当年次 |
|-----------------------------------|--|--------------|
| 大学の学びと社会 (総合科目Ⅱ) | 大学における勉強を自分の仕事にどのように結びつけるのかというキャリア・デザインを考えてもらいます。社会人になる前に学んでおくべきことを幅広く考えるための科目です。 | 1年次 前期 |
| エバー・グリーン講座 (総合科目Ⅲ) | 20年以上続いている伝統的科目。本学のOB・OGの体験を聞き、社会の実態を知るとともに、先輩のアドバイスを参考に、受講生各自が本学で何をどのように学び、これからの人生でどのように活かしていくかを考えます。 | 1年次 後期 |
| 社会連携実践Ⅰa,Ⅱa,Ⅲa (ビジネス・インターンシップ) | 民間企業や官公庁など学外の機関において長期の研修に取り組みます。平成27年度より通年の活動が対象となりました。 | 2年次 3・4年次 |
| 社会連携実践Ⅰb,Ⅱb,Ⅲb (サービス・ラーニング) | 地域のニーズを踏まえてさまざまなボランティア活動に取り組みます。地域の関係者との交流を深めるとともに日々の学習成果を還元します。 | 2年次 3・4年次 |
| 社会連携実践Ⅰc,Ⅱc,Ⅲc (プロジェクト・ラーニング) | 地域の官公庁・企業の協力を得て行う実践型PBL科目です。「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト（通称：マジプロ）」として定着しています。 | 2年次 3・4年次 |

公益社団法人緑丘会との連携事業

| 事業名 | 内 容 |
|-----------------------|---|
| 社会人基礎力 養成事業 | 大学卒業後、社会で活躍するためのキャリア形成支援として、公益社団法人緑丘会（同窓会）と連携した、社会人基礎力養成セミナーやプログラム、調査・研究に基づいた社会人基礎力向上のための資料やツールの提供を通して、支援します。 |
| TOEIC IP Test 助成事業 | 英語力向上を目的として、TOEIC IP Testの受験を義務化したことに伴う学生支援として、TOEIC IP Test受験料の補助を受けることができます（受験者全員が対象、スコアアップのための複数回受験も対象）。小樽の地から多くの国際人を羽ばたかせるために、公益社団法人緑丘会（同窓会）の協力により行っています。 |

地域資源を活用

— 社会連携実践Ⅰc,Ⅱc,Ⅲc —

平成20年11月に、「商大生が小樽の観光について本気で考えるプロジェクト（通称：マジプロ）」がスタートし、その後正規の講義「地域連携キャリア開発」として開講。さらに平成28年度からは、「社会連携実践Ⅰc,Ⅱc,Ⅲc」として、本学の特徴的な教育として確立します。小樽や周辺のマチの活性化を大学生の目線でみつめ、学生達が企業や団体のなかで履修し、課題を見つけて実現に向け提案や行動をしていきます。



マジプロには情報収集が欠かせない。小樽市内の地ビールレストランで取材するマジプロ学生。



マジプロの中間発表の様子。平成26年度は、一般市民参加のもと小樽駅前の広場で実施された。



◀後志の食プロモーションをテーマにしたマジプロの活動。札幌市の手稲前田公園で実施されたイベントにも出展した。



▲小樽市堺町通り商店街の活性化をテーマにした学生たちの様子。お店の特徴や店員さんたちの様子を画像や映像で情報発信した。



◀小樽の隣町 余市町の観光振興をテーマにした学生たち。同様のテーマで活動する他市大学の学生とも交流した。

実践的ゼミナール教育

— 商品企画や製品の輸入, 学生自ら活動 —

本学のゼミには、伝統の実学を重んじたゼミが数多くあります。例えば、商品企画、販売先の開拓、製品の輸入など、商社の実務そのままを学生が実践するゼミもあります。また、ゼミが発展して起業に至るなど、学生自ら経営者として活動しているゼミもあります。



学生が企画し製品化したキーケース

高大連携

本学はこれまで、「キャリアデザイン10年支援プログラム」を掲げ、高校生と大学生、新入生と様々な世代の社会人が交流できる「世代間キャリアコミュニケーション」の場を提供してきました。

本学が掲げる「グローバル人材」の育成方針を踏まえた教育内容を、高校生と大学生が合同で取り組む演習、地域インターンシップなどを通じて提供し、北海道と世界を繋げる人材の早期育成に取り組めます。

鉄は熱いうちに ルーキーズキャンプ

— 新入生のキャリア意識の動機付け —

「ルーキーズ・キャンプ」とは、新入生を対象とした毎年7月頃に行われる1泊2日の合宿研修です。上級生や社会人（卒業生）との交流を通して、大学における学び及び課外活動等の大学生生活全般への主体的取り組み（アクティブラーニング）の動機付けを促し、キャリア意識の向上を図ることを目的として実施されます。

このキャンプでは、社会人（卒業生）に対するトークセッションやインタビュー、今後大学生活で直面するであろう課題等に対するの解決策を考えるグループワークなどを行います。



自ら学ぶ力を育てる設備が満載

生涯にわたって学び続ける力を養い、主体的に考える力を持った人材を育成するための教育の手法である、アクティブ・ラーニング（AL）を実現する設備が学内に数多く配置されています。講義中も自由時間も、学生の能動的な学びを支える環境のなかで、充実した学園生活を送ることができます。

次世代型教育の早期取り組み

AL (Active Learning)・CL (Communication Learning) 対応教室/サポートセンター



AL（アクティブ・ラーニング）とは、教員が一方向的に講義を行う従来の「受動的な学習」ではなく、課題研究やPBL※（プロジェクト・ベースド・ラーニング）、プレゼンテーションなど、学生が主体となり授業に参加する「能動的な学習」を指します。

本学は、平成24年4月より、“10年後のスタンダード”を目指し、この新しい教育の手法に対応する教室のAL化に向けた整備を進めています。AL対応教室には、タブレットPCや3壁面スクリーン、ディスカッションテーブルなど様々な最先端のICT機器を整備し、iPadを利用した教員と学生の双方向での授業を行うことが可能となっています。

さらに、次世代の実学教育の実現に向けて、平成25年4月、新たに5号館の4教室を整備（計6教室）し、AL対応教室での学習を支援するサポートセンターを設置するなど、更なる教育環境の向上を図るとともに、様々な授業科目への導入や授業内容の改善に取り組んでいます。

CL（コミュニケーション・ラーニング）とは、「大講義室でのアクティブ・ラーニング」（双方向性授業）を示し、ICT機器を用いて、教員と学生、学生同士が連携しながら、学生の主体的な学びを実現する学習方法です。学生は、ICT機器、ノートPC、スマートフォンなどを利用して、投影される質問・課題・アンケートの回答を学習支援システム（WEBシステム）にアクセスしながら即座に回答し、その結果等を即座に投影することにより教員・学生での情報共有を計ることが可能です。平成25年度に1室、平成26年度に2室の大講義室（計3室）を改修し、授業に活用しています。

※知識やスキルの習得だけでなく、それが実務でどのように活用されるのかを模擬実務を通して学習する、実習・演習形式の学習スタイル。



大講義室もAL化が進む（160番講義室）



●AL対応教室設備の一覧

◆基本設備：すべての壁面にホワイトボード設置

◆3号館

213AL教室 プロジェクター8台、iPad50台、コラボステーション1台、テレビ会議システム1台、授業モニタリング装置1台、DVDプレーヤー1台

◆5号館

171AL教室 プロジェクター3台、iPad40台、コラボステーション1台、DVDプレーヤー1台

172AL教室 プロジェクター3台、iPad28台、コラボステーション1台、DVDプレーヤー1台

174AL教室 プロジェクター3台、DVDプレーヤー1台

272AL教室 プロジェクター4台、iPad28台、コラボステーション1台、ノートPC10台、BigPad(電子黒板)1台、X-info table1台、テレビ会議システム1台、DVDプレーヤー1台

274AL教室 プロジェクター3台、DVDプレーヤー1台、可動式ホワイトボード10台

●CL対応教室設備の一覧

◆4号館

160CL教室 / プロジェクター3台、板書用PC1台、板書用iPad3台、DVDプレーヤー1台、コンセント・LAN・Wi-Fi環境あり

◆5号館

370CL・470CL教室 / プロジェクター5台、板書用PC3台、DVDプレーヤー1台、コンセント・LAN・Wi-Fi環境あり



学生全員にタブレットが提供され授業が行われる (213AL教室)



BL1教室

BL(Blended Learning)対応教室



BL2教室

BL (ブレンディッド・ラーニング) とは、オンラインを使ったself-access(セルフアクセス)による学習と、face-to-face (フェイス・トゥ・フェイス) による対面型の授業をブレンドした新しい授業形態です。本学の実践型ブレンディッド・ラーニングは、独自のデジタルコンテンツ作成、双方向通信の導入、異文化ビジネス教育の展開により、卒業までに海外のビジネスの現場で活躍できる実践的な語学力を身につけることを目指しています。



BL3教室



デジタルタスク室

●BL対応教室設備の一覧

◆基本設備：すべての壁面にホワイトボード設置
◆2号館

BL2教室 / プロジェクター7台, 2in1PC40台, 授業モニタリング装置1台, ブルーレイプレーヤー1台

BL3教室 / プロジェクター3台, iPad20台, 授業モニタリング装置1台, ブルーレイプレーヤー1台

BL4教室 / プロジェクター3台, iPad20台, 授業モニタリング装置1台, ブルーレイプレーヤー1台, 半面和室6畳

デジタルタスク室 / カメラ3台 (4K,2K,自撮り各1台), マイク5種,電子黒板1台,ブルーバックスクリーン2台, テレプロンプター1台,ミキサー (教室用,貸出用), 編集ソフト (教室用,貸出用)

◆3号館

BL1教室 / プロジェクター6台, 2in1PC40台, 授業モニタリング装置1台, ブルーレイプレーヤー1台



BL4教室



BL4教室

学生の主体的な学びを支える滞在型拠点 附属図書館

人文・社会科学系蔵書の豊かな質と量で知られる本学図書館は、キャンパスのちょうど中央に位置しており、本学のシンボリック的存在となっています。

平成26年2月には、従来の大学附属図書館のイメージを大きく変える、「滞在型の学生の主体的な学びの拠点」としてリニューアルオープンしました。

従来の図書館は「個人が腰を落ち着けて静かに文献や資料と対峙する場所」というイメージがありますが、メインフロアである2階は、学生の能動的な学びを意味する「アクティブ・ラーニング（AL）」エリアとして、グループ学習室やオープン学習スペースなどを備え、学生同士が話をしながら相互に学びあうラーニング・commonsの場としても活用されています。

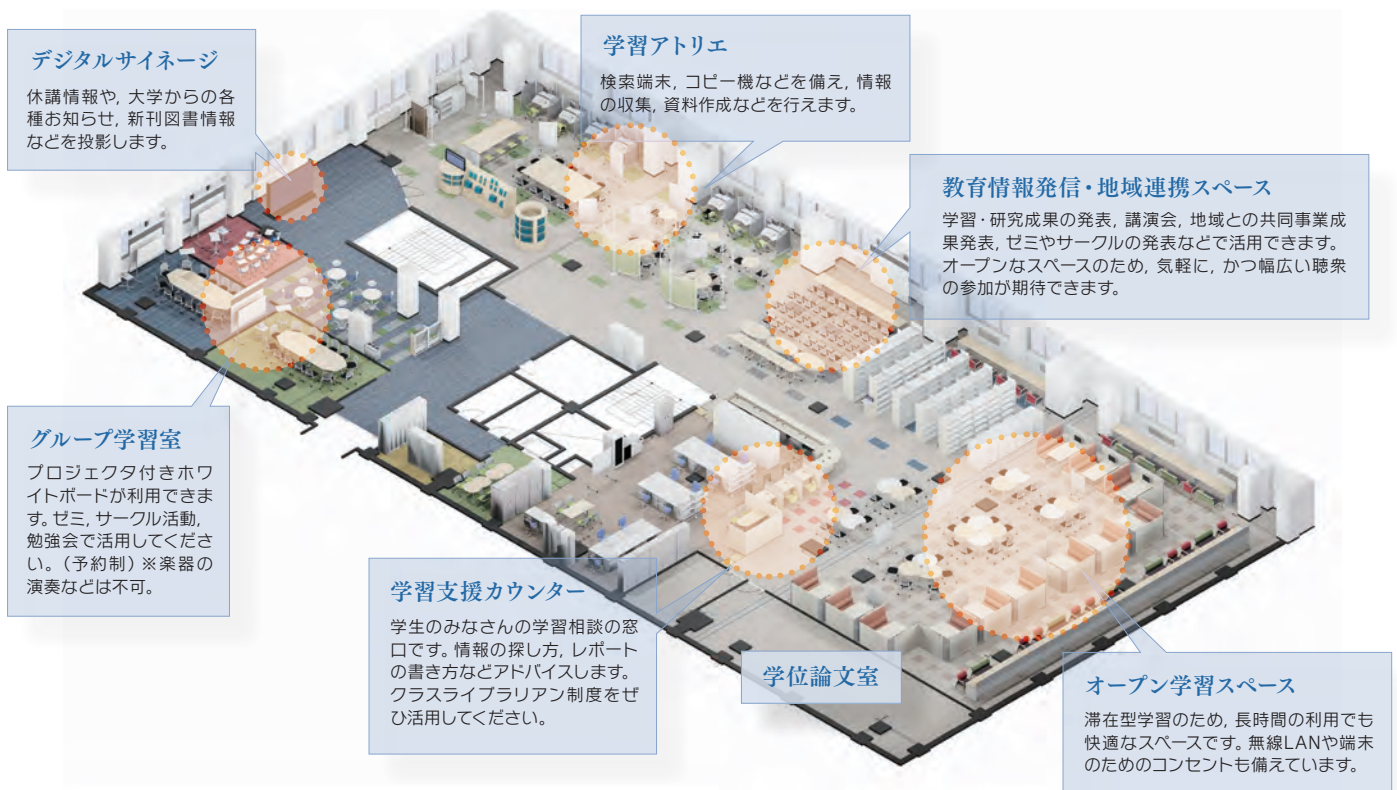
ここでは、連日学生たちがホワイトボードやプロジェクターなどを使いながら活発に議論をし、プレゼンテーションをする姿が多く見られます。また、多彩なテーマで講演会やセミナー、研究発表なども行われる場として活用されるとともに、話題の書籍を、実物とデジタルサイネージで紹介するなど、様々な方法でみなさんの知的好奇心を刺激します。

対して、3階は従来の図書館のイメージ通り、個人で集中して学習するスペースです。講義の予復習、レポート・論文の執筆など、静かに落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができます。学習に必要な図書・学術雑誌が手に取りやすいように近くにあり、閲覧席は他人の存在を気にせず集中できる個室仕様となっています。また、おすすめは海側に面した閲覧席です。小樽の街と港を見下ろし、晴れた日には石狩湾の対岸を望みながらの学習環境は、他では得られない本学図書館ならではの特典です。

そして、学習に必要な図書、雑誌、電子ジャーナル及びデータベースなど最新の資料を学生や教員の要望に応じて収集・提供するとともに、創設以来100年を超える歴史のなかで収集した充実した蔵書を備えており、特に社会科学系では、貴重な文献を多く含む全国でも屈指のコレクションを誇っています。最新の情報から現在を学び、時には、時代を経て色あせない古典をひもとき、知識や教養を深めることも、図書館活用の醍醐味です。

2階アクティブ・ラーニング（AL）エリア

多様な学びのスタイルに対応した学習空間を整備しました。
学生のみなさんの柔軟な発想で、活用方法を生み出してください。





デジタルサイネージ



学習アトリエ (2階)

グループ学習室 (2階)



教育情報発信・地域連携スペース (2階)



オープン学習スペース (2階)



個別学習スペース (3階)



個別学習スペース (3階)



●蔵書数 (平成27年3月31日現在)
 蔵書 計 455,813冊 (和書 289,621冊・洋書 166,192冊)
 雑誌 計 11,961種 (和雑誌 8,663種・洋雑誌 3,298種)

開館時間

- 平日/午前8時45分～午後9時45分
- 土/午前10時～午後7時30分
※学生の休業期間の月～土は午後5時閉館
 ※学部土曜授業日は、平日と同じ
- 日・祝日/午前10時～午後5時



LL (ランゲージラボラトリー)



BL1教室

自主的な学習をサポートする学習環境 言語センター

言語センターは、外国語教育を主とする多目的教室 (LL, CAL, BL)、学生利用施設 (マルチメディア・ライブラリ)、教員利用施設 (情報処理室、音声調整室)、および事務室からなっています。

授業用の教室には、LL (ランゲージ・ラボラトリー) が2室、CAL (キャララボラトリー/第4自習室) が1室、BL (ブレンディッド・ラーニング) 教室が4室あり、大型スクリーンや電子黒板、各種AV機器やPC機材を用いて、e-ラーニングをはじめとする先進的な授業が行われています。

また、学生が自由に利用できるML (マルチメディア・ライブラリー) は、外国語学習に役立つ教材や音声・映像ソフトを数多く揃え、学生の自主的な学習をサポートしています。個人ブースも備えており、授業の予習・復習や各種の語学検定試験対策も、落ち着いた学習環境で集中して取り組めます。



BL1教室

● 商大版ブレンディッド・ラーニング

本学が推進するブレンディッド・ラーニング (BL) は、オンライン学習と教室での対面学習とをブレンドした新しい授業です。例えば、学生が予習用の課題をオンラインで提出し、それをもとに教員が学生にアドバイスを与え、学生はさらに予習を深化させて授業に臨みます。その他、海外の提携大学と双方向通信を行うことも可能です。

開放時間 ■月～金/午前8時30分～午後5時

最先端をいく情報教育の実現

情報処理センター



第1実習室

本センター内には、第1実習室～第4実習室、教員利用室、ネットワーク管理室などを設置し、学生が利用できるパソコンは200台以上あり、実習室の混雑の緩和を実現し、授業以外の時間帯でも自由に利用ができます。

また、本学のほぼ全域からセンターのサーバーマシンを利用することもできますので、ゼミ室をはじめ、教員利用室、附属図書館、講義室などからもネットワークの接続が可能です。

平成28年3月にシステムの更新が予定されており、より良い快適なコンピュータ環境となります。



第1実習室

●情報処理センター設備の一覧

- ◆全実習室／Windows218台、プリンター4台、カラープロジェクター4台、イメージスキャナ4台
- ◆教員利用室／Windows3台、Macintosh2台、プリンター2台、イメージスキャナ1台
- ◆ネットワーク管理室／学内LANの中枢となる各種サーバ、ネットワーク関連機器

開放時間

- 月～金／午前8時～午後10時30分
- 土 /午前9時～午後5時(第3実習室のみ)



充実した就職支援

3年次後期から、就職活動（いわゆる就活）が始まります。そこから、4年次の就職内定に至るまで、様々な就職活動支援が行われます。

就職支援の目的は、

- ①希望する就職先を見つけられるように必要な情報を提供すること
- ②就職活動に求められる技術やマナーなどを伝授すること
- ③就職に関する相談に応ずること

にあります。具体的な支援には、次のようなものがあります。



▲緑丘企業等セミナー



▲東京就活体験会OB・OG交流会



▲キャリア支援センター



▲CDPIによる模擬面接

キャリア支援センター、 公益社団法人緑丘会（同窓会）、 キャリア・デザイン・プロジェクト（CDP）

下記の就職支援活動を支えるのが、キャリア支援センター、公益社団法人緑丘会（同窓会）、キャリア・デザイン・プロジェクト（CDP）です。

キャリア支援センターは、本学のキャリア支援室（3人の職員と就職アドバイザー、キャリアカウンセラー）と公益社団法人緑丘会職員1名で運営しています。ここには求人情報をはじめ、就職活動に必要なあらゆる情報が集まっています。就職相談、企業等セミナーなど幅広い就職支援活動の母体となっています。

公益社団法人緑丘会は、強力な本学の同窓

会。後輩の就職活動のために母校を支援しています。本学は、とりわけ産業界に優れた人材を輩出してきましたので、それを束ねる公益社団法人緑丘会には、優れたネットワークが作られ、それが就職支援に大いに役立っています。

キャリア・デザイン・プロジェクト（CDP）は、学生の就職支援団体です。毎年、4年生が中心になって結成され、キャリア支援センター、公益社団法人緑丘会と一緒に、後輩3年生をサポートします。後輩の相談に応じ、就活の体験を伝えるなど、3年生の就職活動の大きな支えになっています。

緑丘企業等セミナー

就職支援のなかで最も重要なのが「緑丘企業等セミナー」です。これは、3月に本学で行われる企業研究のためのセミナーで国内の主要な企業が参加します。

このセミナーのメリットは、わざわざ企業訪問をしなくても、居ながらにして、国内の様々な企業に触れることができることです。

セミナーが終わると、毎回、参加企業の担当者や学生が一堂に会して情報交換会を行います。担当者との会話から、働くことの意味、仕事で求められる能力、採用情報など最も重要な情報を手に入れることができます。これもこのセミナーのメリットの一つです。

学内で行うセミナーとは別に、東京でも就活体験会が開催されます。この時には、東京に本社を置く大手企業を訪問したり、池袋サンシャイン60の57階にある公益社団法人緑丘会本部において、首都圏在住のOB・OGの方と交流することができます。東京で就活体験ができるということで、学生にも大変人気があります。

| 事業名 | 内 容 |
|------------|--|
| 就職ガイダンス | 就職支援の冒頭を飾るイベント。来年の採用状況、就職活動に必要な準備・心構えなどに関する講演が行われます。 |
| 公務員試験ガイダンス | 公務員を志望する学生のために、国家・地方等の官公庁及び専門職試験の違いや動向等に関する講演が行われます。 |
| 緑丘企業等セミナー | 北海道内外の主要な企業が大学で個別ガイダンスを開催します。 |
| 臨時就職支援室 | 就職活動を行う学生のために、札幌サテライトに臨時開設します。就職相談も行っています。 |
| 各種対策講座 | 自己分析の方法、業界研究の進め方、エントリーシートの書き方、面接対策、グループワーク体験などを教えます。 |
| 就職相談 | 専任の就職アドバイザー、キャリアカウンセラー、先輩（CDPのメンバー）などが対応します。 |
| 公務員受験対策講座 | 公務員志望の学生のために、安い授業料で講義が受けられます。 |
| 緑丘就職活動支援融資 | 就職活動に必要な費用について融資を受けられます（10万円）。ただし、一定の条件（一定の単位を修得していること、緑丘会の賛助会員であることなど）を満たしていることが必要です。公益社団法人緑丘会（同窓会）の支援事業です。 |

充実した相談体制

キャリア支援センターでは、大手銀行人事部長等を歴任された就職アドバイザー、大学等での就職指導経験豊富なキャリアカウンセラーが皆さんの相談内容に応じて専門的に相談に応じます。

その他、企業の採用実務に詳しいキャリア支援室職員が就職相談に対応いたします。

多様な選択肢

学生の就職先は実に多様です。メーカー、金融、流通が多くを占めますが、それ以外にも様々な分野で活躍しています。卒業生の半分近くは、北海道外に本社のある企業に就職します。

北海道外の高校から本学に入学して、卒業するときは、道外の企業に就職することも充分可能です。

2014年度就職内定率 **96.7%**
(9月卒業含む)

| 区分 | 昼間コース | | | 夜間主コース | | | 合計 | | |
|-----|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 | 男子 | 女子 | 計 |
| 内定率 | 97.3% | 96.3% | 96.9% | 85.7% | 100% | 94.9% | 96.7% | 96.7% | 96.7% |

| 区分 | 男子 | 女子 | 全体 |
|--------|-------|-------|-------|
| 道内本社企業 | 55.4% | 45.7% | 51.1% |
| 道外本社企業 | 44.6% | 54.3% | 48.9% |

就職に強い 大学ランキング 国立で6位!!



週刊ダイヤモンド
平成25年10月12日号
(ダイヤモンド社)

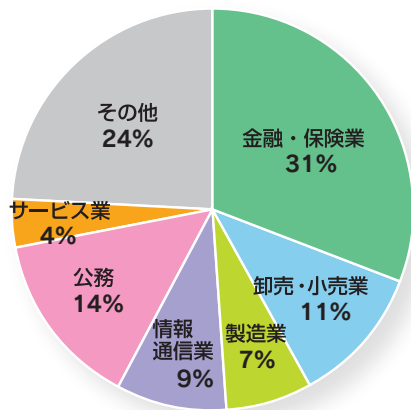
| | |
|----|----------|
| 1位 | 一橋大学 |
| 2位 | 名古屋工業大学 |
| 3位 | お茶の水女子大学 |
| 4位 | 東京大学 |
| 5位 | 東京外国語大学 |
| 6位 | 小樽商科大学 |

お値打ち学校 ランキング お買い得度全国 (就職偏差値)



プレジデント
平成24年10月15日号
(プレジデント社)

| | |
|----|---------|
| 1位 | 小樽商科大学 |
| 2位 | 横浜国立大学 |
| 3位 | 聖心女子大学 |
| 4位 | 東京外国語大学 |
| 5位 | 津田塾大学 |



経済学科

- 1 金融・保険業
- 2 公務
- 3 製造業

商学科

- 1 金融・保険業
- 2 卸売・小売業
- 3 公務

企業法学科

- 1 金融・保険業
- 2 公務
- 3 卸売・小売業

社会情報学科

- 1 金融・保険業
- 2 情報通信業
- 3 公務

[主な就職先]

道内

- 北海道電力 ●札幌市役所
- 北洋銀行 ●北海道銀行 ●ニトリ
- 北海道労働金庫 ●JR北海道
- ホクレン農業協同組合連合会
- 北海道ガス ●六花亭製菓

道外

- 三井住友銀行 ●日本生命保険
- りそな銀行 ●北陸銀行
- あいおいニッセイ同和損害保険
- 東京海上日動火災保険
- SMBC 日興証券
- 日本政策金融公庫

企業セミナーに参加!

業界を広く知ることで、後悔のない就職活動へとつなげる貴重な機会



続木 翔子

商学科 / 平成26年度卒業
日本銀行

小樽商科大学の大きな強みの1つには「就職率の高さ」が挙げられるかと思います。私も大学選択時、そのことをとても魅力的に感じていました。大学側の強力なサポートがあるからこそその就職率の高さです。そのサポートの1つが、企業等セミナーであると言えます。企業等セミナーは、毎週にわたり数十社の企業が大学へ来てくれます。そこでは、企業概要・事業概要・社風など大事な要点を30分間に詰め込んでお話をしてくださり、学生側は聞きたい企業を選ぶことができます。私は、全ての回に参加しました。大学での開催であることから、とても気軽に参加することができます。就職活動は、自分の思い込みや根拠のないこだわりがしばられることがあります。企業等セミナーに参加することができて、業界を広く見ることができ、後悔のない就職活動ができました。また今でも、セミナーで聞いた企業のことを新聞で見つけると嬉しくなることや、就職活動を境に世の中の動きを少し理解できた気もします。貴重な機会にとても感謝しています。

先輩たちが送る 母校へのエール

小樽商科大学同窓会 公益社団法人緑丘会

本学には、強力な支援組織として、同窓会「公益社団法人緑丘会」があります。現在、会員は約6,000名で、海外を含め全国に26の支部が設置されています。本部は、東京・池袋サンシャイン60の57階にあります。ここは、緑丘会の活動拠点であるだけでなく、OB・OGの交流の場。学生が東京で就職活動をする際の拠点ともなっています。

本学は、公益社団法人緑丘会から、国際交流、学術振興、エバグリーン講座、就職、学生の課外活動などで多大の支援を受けています。公益社団法人緑丘会は、本学の創立80周年、90周年、100周年及びビジネススクール設置にあたりそれぞれ募金活動を行い、これらの事業に対して毎年多額の寄附を行っています。

本学は、これまで、産業界はじめ社会のあらゆる分野に、優れた人材を輩出してきました。とくに、産業界での本学OB・OGの活躍はめざましく、某経済誌による調査でも、学生一人当たりの役員（社長や取締役）の輩出率は、国立私立125大学のなかで5位でした。これらの先輩の活躍が、本学の産業界における評価を高め、後輩の就職活動の力となっているのです。



「ホームカミングパーティー」。
(東京緑丘会本部)



公益社団法人緑丘会理事長
公益財団法人小樽商科大学後援会理事長
島崎 憲明氏

【プロフィール】

昭和44年卒・国際経済学ゼミ
第52代応援団団長 バスケットボール部
元住友商事株式会社代表取締役副社長
日本証券協会副会長自主規制会議議長
日本公認会計士協会顧問

青春の一時期を素晴らしい教育実現の場である小樽商大で



公益社団法人
緑丘会常務理事

桶谷 喜三郎
(昭和41年卒業)

昭和37年(1962年)4月、大阪駅20時発の急行「日本海」に乗り、翌日夜青森に到着、夜遅く出港する青函連絡船を経て函館本線に乗り継ぎ、薄暗い早朝の小樽に着いた私は、寒さと空腹に加え重い荷物を持ち不安な思いに駆られていました。

道外から4割いた入学生の一人で、東京試験場も大学教室2室を借りて行われる程の受験生がいて、返還前の沖縄からパスポートを持って進学した友人もいました。高校では小樽商大に入学願書を出す初の受験生であった私は、志望動機などを何度も聞かれました。

北の大地にあって歴史と伝統があり実学の修得に力を入れる大学である、と調べ親にも希望を述べたところ、旧き「小樽高商」の名はつとに高く、親元を遠く離れる息子を快く送り出してくれました。下宿での学生生活となりましたが、出身地の異なる同宿生と直ぐに親しくなり近くの自宅通学者も交え、色々なカルチャーショックを受けながらも、勉強や遊びを通じて談論風発の毎日を楽しく過ごしたことを今も懐かしく思い起こします。

大学生活は何事にも初めて出遭い、努力してそれを乗り越え、確かな経験として自らに蓄え、さらに次のステップに進む、というプロセスを最も吸収しやすい時期に体感し、自己の完成を目指し進むことが出来る恵まれた境遇に身を置くことであるといえましょう。

人はそれぞれの生い立ちの中から様々な人生を歩み出しますが、とりわけ青春の一時期を素晴らしい教育実現の場である小樽商大で過ごし、多くの友人と強い絆を築き共に学ぶことが出来た事は、今も自分の中に確かな礎となっていると大いに誇りに思っています。

現在、本学同窓会 公益社団法人緑丘会の運営に参加していますが、先輩方が築かれた太く強いネットワークを支え、公益性ある事業活動を通じて本学のさらなる発展に向け努めたいと考えています。受験生諸君には、先輩後輩の結束が固く伝統の実学教育が充実し、また明るくのびのび自由な雰囲気をもつ本学を強くおすすめします。



石積 尚幸

(管理科学科 昭和57年卒業)

日本オラル株式会社
副社長執行役員
カスタマーサポートサービス統括

人に聞く前に自分で調べる 勉強の仕方を学んだ大学時代

私が商大卒業後、横河ヒューレット・パッカード（現日本ヒューレット・パッカード、以下HP）へ入社して以来、日本初のインターネットバンクサービスや、携帯電話各社のシステム構築など、現在の情報社会の基礎となるプロジェクトにいくつもかかわってきました。その原点は小学生時代。SEにあこがれていた少し変な子どもでした。商大の管理科学科を選んだ理由も、情報系の授業が充実していたからです。当時としてはかなり最先端を走っており、商科大学であるにもかかわらず汎用の中型コンピュータがありました。理系ではなく文系の国立でこのような機器がある大学は珍しかったです。3年時、数理統計のゼミでは、米国製のパソコンを使ってプログラミングをしていました。そして英語で書かれた原書を使い、インターネットも電子辞書もない時代に自分でコツコツ調べ勉強したことは、苦しいことでしたがよい体験でした。HPへ入社したころ、すべて英語のマニュアルでしたが英語を読むことに抵抗はなく、大学時代に身につけた「人に聞く前に自分で調べるクセ」が役立ちました。商大は昔から小規模なこともあり、先生方々が非常に熱心に学生の指導をされます。私は今も先生方々と交流がありますが、自分が経験してきたことが少しでもお役に立てばと「北海道ITサミット」を企画させていただいたり、エバー・グリーン講座で私がお話をしたこともあります。また、東京近郊在住のITにかかわっている卒業生の交流会にも所属しており、業種を越えて商大というつながりの中、有意義な交流を深めています。商大出身の諸先輩方は素晴らしい方々ばかり。今後も「北に一星あり小なれどその輝光強し」の精神で、商大にしかできないことを追求していただき、またグローバルに活躍できる、優れた人材を輩出し続けていただきたいと思います。



下斗米 寛泰

(商学科 昭和45年卒業)

札幌通運株式会社
代表取締役社長

日本一高い場所にある同窓会館

これは、東京池袋サンシャイン60ビル57階にある小樽商科大学同窓会館「緑丘会館」のことです。昭和45年小樽商科大学を卒業し、大成火災海上保険会社（現損保ジャパン日本興亜損保に統合）に入社。東京勤務のこともあり、若い時から頻繁にお客様や友人とこの緑丘会館を使用しました。眼下に広がる57階からの大眺望、美味しい料理、原価で飲めるアルコール類。必ず同伴者から聞かれるのが「北海道小樽の大学が、何でこんな素晴らしい同窓会館をもっているの?」という質問でした。

その時私は自慢そうに「それは小さい名門校だからです」と答えていました。「国立にしては珍しい単科大学で規模は小さいが、前身の小樽高商時代からの伝統の反骨精神を受け継いだ卒業生は、経済界のみならず様々な分野で活躍しています。例えばA氏、B氏、C氏…」とまた嬉しそうに話していました。そしてこの場所は先輩と後輩とが出会い、母校への思いを馳せることができる憩いの場所でもありました。

個性を尊重・自由な校風

時々、なぜこんなに我が母校が好きなんだろうと考えることがあります。大学時代、私は軽音楽部に所属しエレキに夢中で、授業への出席率も良くない劣等生でした。しかし大学も先輩も仲間も「個性を尊重する自由な雰囲気」があり、ゼミの先生と、またバンド仲間や寮生と深夜まで、時には朝まで若き青春の熱い思いを語り合った思い出がたくさんあります。きっと皆この校風が好きだったのでしょう。そしてこの校風が多くの人材を育み、社会に送り出してきた源泉なのでしょう。

同窓会活動も盛んで、先述の同窓会館のほか各地に支部があり、卒業後も先輩・同期とのコミュニケーション作り・人脈作りを行ってきました。その中で仕事の師のみならず人生の師とも出会うことができました。大成火災がニューヨークのテロの影響で破綻したときも、それらの師の言葉に支えられ乗り越えることができました。先日お返しのつもりでエバーグリーン講座で講師を引き受けましたが、教壇に立って若い現役学生を前にしたとき熱いものが込み上げ、本当に母校小樽商大が好きなんだということを再認識しました。

最後に大好きな言葉を送ります。「北に一星あり、小なれどその輝光強し。若人よ集え、北の一星小樽商科大学へ」

ゼミでの経験をきっかけに、 まちづくりの仕事へ

私は、高校時代幅広い教養を身につけたいと思い、学科を横断して授業を受講できる、小樽商科大学への進学を決めました。規模こそ小さい大学ですが、その分、縦・横の繋がりが非常に強い大学だと思いますので、ご入学された際には、ぜひこの環境を活かし、様々な人と交流し、自分の価値観を広げていくことをおすすめします。

大学時代には、サークルやバイト等、様々な活動に勤しみましたが、特に打ち込んだゼミナール活動は、自分の中の大きな財産です。ゼミでは、地域の方やNPOの方と密に接しながら地域活性化に取り組んでいました。

就職活動時には、ゼミの経験から興味を持った、不動産デベロッパーの三菱地所株式会社に内定を頂き、入社に至っております。現在は、研修期間中ということで、業務内容やビジネスマナー等、様々な知識の吸収に励んでいます。

梶川 圭太

(商学科 平成26年度卒業)
三菱地所株式会社



す。将来は、多くの人が安らげるようなまちづくりをしたいと考えています。

最後になりますが、学生時代はあっという間に終わってしまいます。大学は、良くも悪くも自分の時間の使い方は自由であり、自分を律することが大切です。ぜひ、後悔しないよう、どんな道を選んでも全力で取り組んで欲しいと思います。

小樽商科大学には、皆さんを支援する環境が整っているので、ご入学された際には、ぜひ様々なことにチャレンジしてほしいと思います。皆さんの貴重な学生生活が、充実したものになるように、心より応援しています。

ゼミナール紹介



ゼミナールは、自分が選んだ研究テーマをより深く追求するだけでなく、学生同士、学生と教員が日常的に交流する場でもあります。ゼミナールには、1年生の初年次教育を目的として半年間行われる基礎ゼミナールと、専門教育として3・4年生を対象に2年間行われる研究指導の2つがあります。

学生は原則として、3年生になると研究指導を履修しなければなりません。3・4年次の2年間、指導教員のもとで自分の選んだ研究テーマを追求し最後に成果として卒業論文を提出します。

各ゼミナールには、専用の部屋（ゼミ室）が与えられ、自由に使うことができます。ゼミ室は、各種のミーティング、休み時間中の休憩、定期試験時の勉強場所などにも利用されており、まさに大学生活の拠点となっています。



ゼミを選択する2年生のために、毎年ゼミナール協議会が発行しています。（P36参照）

ゼミナールで多様なテーマを研究

ゼミナールでは自己責任が原則。自学・自習・他者との議論を通じた自己研鑽が求められます。昼間コースと夜間主コース合わせて毎年約70のゼミナールが開講されており、ひとつのゼミナールで10名程度の学生が、ゼミ室を拠点にゼミ活動を行います。

各学科のゼミナールにおける主な研究テーマとしては、経済学科では、日本経済や国際経済などの問題点をミクロ経済学、マクロ経済学、金融論などで学んだ理論を用いた内容、商学科では、企業活動の問題点をマーケティングや会計学、経営学などで学んだ理論を用いた内容、企業法学科では、憲法、民法、行政法、商法、国際法などに関連した判例や社会問題などを取り上げた内容、社会情報学科では、企業など組織における意思決定の仕組みや経営効率などについて、コンピュータを用いた分析・

評価を行う内容や、コンピュータネットワークやWebを利用したコミュニケーションについて取り上げた内容などを設定しているようです。

さらに、ゼミナールのなかには、小樽の街を活性化させることを目的としたり、学生に起業させることをテーマとするようなユニークなゼミ

ミナールもあり、こうしたゼミ活動がマスコミ等に紹介され、学外でも話題になるほどです。

ちなみに、平成18年度から実施している「学生論文賞」のテーマは、下記のようなものがありました。

| 応募年度 | 論文題目 |
|-------|--|
| 平成24年 | ビジネスシステムにおける経済性の追求ーアークスグループの事例からー |
| | 外在的考え方の理論的検討と尺度作成の試み |
| 平成25年 | 途上国における人間開発とグッド・ガバナンスについて |
| | 場所性が与える行動への影響についてー場面における非日常的コミュニケーションを中心としてー |
| | 経験価値デザインによる脱コモディティ化戦略ー感性工学アプローチによる製品開発マネジメントー |
| 平成26年 | コース・リレーテッド・マーケティングによる脱コモディティ化戦略ー社会性・共感性がマーケティング競争優位に与える効果検証ー |
| | 老舗企業の経営統合とパラダイム転換ーJ・フロントリテイリングの経営統合プロセスのケース分析ー |
| | 感情表現に基づいた場面転換を考慮した物語要約 |
| | 戦略的CSRにおけるSBUの活用ーサッポロビール北海道本社の地域共創の事例からー |
| 平成26年 | グローバル提携における日本的経営の再評価ー日産自動車とルノーの事例分析ー |
| | スマートフォンゲームアプリにおける顧客ロイヤルティの形成プロセス |
| | 日本人女性の幸せな生き方に関する考察 |

“法律”はとても身近な存在 座学だけではなく、行動することで身に付く法律の基本

永下 泰之
ゼミナール



小池 悠也

企業法学科 / 4年
横浜高等学校出身

民法ゼミである永下ゼミについて紹介します！
法律の勉強というと、堅苦しい文章とにらめっこする退屈なものというイメージがあるかもしれませんが、当ゼミは他大学と討論したり、弁護士の方にお話を伺いに行ったりと、とてもアクティブ！

法律は難しそうで抵抗があるという方も大丈夫です！当ゼミでは、まずはグループに分かれて判例研究と発表をし、判例・評釈、文献の探し方や読み方など、法律を学ぶ上での基本を身に付けます。

昨年度は4つの大学が京都に集まり、原告被告に分かれて討論をする機会があったのですが、大学で扱っていない分野が題材だったので、とても苦労しました。しかし、チームワークを活かして取り組んだ結果最優秀ゼミ賞をいただき、最高の思い出になりました！

法律は皆さんが思っているよりもずっと身近な存在で、法律的な考え方を持つことは物事を見るうえできっと役に立ちます！学ぶ意欲があれば、永下先生が全力でサポートしてくれます。民法を専攻したいという方はもちろん、法律に抵抗がある方も、この機会に法律を学んでみませんか？永下ゼミは意欲的なあなたを待っています！



経済面から物事を見る面白さを学び、 経済学を通じて社会の深さを理解する

柴山 千里
ゼミナール



大村 莉奈

経済学科 / 4年
市立函館高等学校出身

私たちは国際貿易理論を学ぶ、経済学を通じて社会の深さを理解するというテーマで学んでいます。私は、授業で受けた国際貿易理論の知識を更に深め、また苦手なディベートに挑戦したかったので柴山ゼミを選びました。

具体的な活動としては、テーマに沿った本の一章をレポーター形式でプレゼンテーションをし、皆で意見を述べ合いました。また年に3~4回他ゼミとのディベート大会を行っています。柴山ゼミの良いところはゼミの活動を全力で行うだけでなく、遊びの時間も全力で楽しむことで、小樽観光や夏のゼミ合宿など企画さえすればなんでもできます！

私は人前での発表や意見を発信することが苦手で苦労しましたが、少しずつ克服する中で経済の面から物事を見ることの面白さを学ぶことができました。この経験から将来的には金融面から社会的に貢献できる存在になりたいと考えています。

ゼミは大学3~4年の2年間を所属し、自分が本気でやりたいことを選び成長できる場だと思います。ゼミを選ぶ中で国際経済学やディベートに興味がある！という方は是非見学に来てみてください。



ゼミでの議論や外国人観光客とのコミュニケーションを通して自身の成長を実感できる日々

プラート・
カロラス
ゼミナール



田中 良坪

商学科 / 4年
北海道北広島高等学校出身

私たちプラートゼミは国際観光マーケティングを研究しています。

教科書を読むだけでなく、国際展開をしている企業の事例を研究し、成功要因や改善すべき点はどこかを議論したり、観光の分野においては実際に国際的に人気のある北海道内の観光地に赴き、観光客の方から生の声を集め、より魅力的な観光地になるにはどんな策を講じれば良いかを議論したりするのが、私たちのゼミの主な内容です。

プラートゼミに入ってから、日々の議論や外国人観光客の方とのコミュニケーションを通して、内向的だった自分から積極的な自分への成長を実感できました。また、プラート先生はとても知識が豊富でお話好きなので、幅広く多くのことを学ばせて頂けますし、お花見などで楽しむときはとことん楽しむ！そんなメリハリのある生活を気の合う仲間とできるのも、プラートゼミの魅力の一つだと思っています。

卒業後は、プラートゼミで学んだことを活かして、人口減少により窮地を迎えているこの北海道の、国際化・観光産業の成長に貢献したいと思っています。

ゼミは大学生生活の集大成になります。ぜひ関心をもった分野に本気で取り組んでみてください！本気になれる環境があなたを待っています！





国際交流センター

現代に必要な国際感覚を身につけ、異文化を理解できる真の国際人を育成するために、留学制度の充実はもちろん、国際交流センター・言語センターを中心に学内における国際化が進められています。

国際交流センターは国際交流の拠点です。学生や研究者の交流事業、外国からの交換留学生のために英語で授業を行う**短期留学プログラム**などを実施しています。留学生や外国人研究者が入居できる国際交流会館も充実しています。

交換留学制度・短期語学研修制度

交換留学制度の対象は2年生以上。学生交換協定を結ぶ外国の大学に留学し、留学先で修得した60単位までを本学の修得単位として認定します。たとえば3年次に1年間留学しても帰国後は本学の4年生として在学、4年間で卒業することが可能です。

授業料は、本学への納付分のみで留学先では免除となるほか、大学後援会や日本学生支援機構の奨学金制度もあります。そのほかに、夏休み・春休みを利用した**短期語学研修制度**があります。

留学概要

交換留学

留学資格

- 派遣時2年生以上（申し込みは1年生の時期になる場合もある）
- 英語圏に関しては、申し込み時にTOEFL 480点以上。（但し、オタゴ大学特別プログラムに関しては、申し込み時にTOEFL530点以上）

留学費用

- およそ100万円～200万円程度/年（地域によって異なる）

短期語学研修

留学資格

- 特にありません。だれでも参加できます。

留学費用

- およそ3～4週間で50万円程度

●小樽商科大学後援会助成金

交換留学の場合で10万～20万円。短期語学研修の場合で5万円の奨学金が支給されます（給付型）。

●日本学生支援機構奨学金

地域により1ヵ月につき6万～8万円の奨学金が支給される場合があります（給付型）。また、留学期間中のみ、借りることのできる奨学金（月額3万～12万円）もあります（貸与型）。



国際交流センター長
商学科教授 穴沢 眞

旅と異文化体験は、心に響く学生のうちが一番です

国際交流センターの仕事は国際交流の企画立案、外国人留学生の受け入れ、本学の学生の留学支援、教員の海外研修や研究交流のバックアップなど多岐に渡ります。現在、本学には約90名の外国人留学生がいますが、国際交流センターでは様々な形の奨学金、チューター制度などで一人一人をサポートしています。チューター制度では、商大生が留学生の勉学・生活の両面で補佐役を務め、学内における国際交流の担い手として活躍しています。また、国際交流ラウンジは留学生と日本人学生の交流の場となっています。

本学には海外の協定校とお互いの学生を長期（1年）間留学させる『交換留学制度』と夏休み・春休みを利用して外国の大学や語学研修機関で外国語を学ぶ『短期語学研修制度』があります。交換留学には日本学生支援機構の奨学金受給のチャンスがあります。特に小樽市の姉妹都市であるニュージーランド、ダニーデン市のオタゴ大学への特別派遣プログラムでは観光やマーケティングを集中的に勉強できます。そして、長期、短期いずれの制度でも海外で学んだ成果は本学の卒業所要単位として認定されます。

交換留学は、長期間海外で語学や専門科目をじっくりと学ぶ絶好の機会です。また、短期の語学研修でも、海外から日本を見直すという貴重な体験ができます。これまでも多くの商大生が留学を経験し、一回りも二回りも成長して帰って来ました。彼らに続く、世界で活躍できる人材の育成にこれからも貢献して行きたいと思えます。



海外研修プログラム

平成27年度から始まった「グローバルマネジメント副専攻プログラム」言語文化教育科目群のために、新たに次の3つの授業科目が設置されました。これらは「海外の協定大学等への短期留学」+「大学における授業」を合わせて語学の学習を行い、異文化を理解をするもので、修了者は卒業所要単位2単位が修得できます。専門共通科目なので、副専攻に所属しなくとも履修はできます。

アジア・オセアニア事情（1年次配当科目）

本学の協定大学であるマラヤ大学（マレーシア）及びオタゴ大学（ニュージーランド）での語学研修（英語）の他に、現地での企業訪問や課外活動、生活を通じて現地の社会、経済、文化などを学びます。さらに現地への適応や海外経験の蓄積により、グローバルマネジメント副専攻プログラムへの参加を促すものとなっています。

ヨーロッパ事情（2年次配当科目）

グローバル人材に必要な国際知識、国際感覚の内、特にヨーロッパに関する分野を学習し、併せて外国語（英語）の更なるスキルアップを目指します。オーストリア・ウィーン経済大学のサマープログラム（英語による国際マーケティング授業）に参加し、その後、ドイツ・ベルリンにおける研修を行うプログラムです。

アメリカ事情（3・4年次配当科目）

アメリカ合衆国マサチューセッツ州の大学や文化施設を訪問することを通じて、アメリカ社会の現状について、理解を深めます。ボストンのキャンパス訪問を通じて、アメリカの大学文化に触れます。州政府によるセミナーに参加して、地域経済の特徴および州政府の貿易促進政策について学びます。ボストン美術館の訪問とボストン交響楽団によるコンサートを聴き、地域社会に根差した文化活動の重要性について学びます。

注意：以上は、平成27年度の内容です。研修内容は変更される場合があります。

佐野力海外留学奨励金

上記プログラムに参加する場合、留学のための奨励金が支給されることがあります。本学OBで元日本オラルク会長佐野力氏による寄付金から、授業料・宿泊費等が支給されます。

オタゴ大学特別派遣プログラム

オタゴ大学特別派遣プログラムは、本学が初めて学生交換協定を結んだニュージーランドのオタゴ大学で、観光学やマーケティングを中心に学習することを目的として、小樽市、小樽観光協会、小樽ニュージーランド協会の協力を得て作られたプログラムです。オタゴ大学のあるダニーデン市は、小樽市の30年以上にわたる姉妹都市であり、ダニーデン市と小樽市との間での交流も盛んに行われています。

このように、本プログラムは両大学が互いに姉妹都市に位置しているというユニークな関係性を生かして、地元小樽、ひいては、日本の観光産業に寄与できる人材を育成することを目指しています。





留学体験記



サウスダコタ大学

世界中の友人、現地の人々、留学中のすべての経験や思い出が財産に



高橋 果花

企業法学科 / 4年・旭川龍谷高等学校出身
※左から2人目が筆者

私は大学2年生の時にアメリカに語学留学をし、それがきっかけでもっと多くのことを経験したくなり、今回の交換留学を決めました。留学先では主に教育や英語教授法を学びました。授業は、教科書の予習課題をもとに理論を学び、授業や実践を通して知識を定着させるというスタイルのものが多かったです。最初の頃は大量の予習課題にくじけそうでしたが、模擬授業や幼稚園での実習など、楽しみながら勉強することができました。週末は、大学企画の留学生向けの旅行に参加し、歴代の大統領が彫られたラシュモア山、世界最大の爬虫類館、アメリカ最大のショッピングモールなど多くの場所を訪れました。旅行中の自由時間には、自分たちで作ったグループで遊園地に行ったり、観光地などを見て回ったりしました。旅行を通して知り合ったグループの友人たちとは帰国後も連絡を取り合う仲となり、この旅行は忘れられない思い出となりました。世界中の友人、町の優しい人たち、身に付けた知識、楽しかったことや辛かったこと…。留学中の全ての経験や思い出が私の財産です。留学を決断するには勇気があると思いますが、恐れずに挑戦してみてください。きっと素晴らしい留学生活があなたを待っています。



忠南大学

留学で得た経験と自信が、具体的な将来像への一歩に



細川 知美

商学科 / 4年・北海道札幌月寒高等学校出身
※後列左から2番目が筆者

2年生の夏休みに英語を勉強しようとフィリピンへ短期語学留学に行きました。私は第二外国語で韓国語を学んでいたため、そこで少ない語彙力で韓国の学生と話すうちに韓国語に魅了され、交換留学を決めました。留学前に必死に勉強したので留学先では韓国語を学ぶのではなく、経営学や韓国史の授業を受けたり国際交流イベントに参加したりできました。現地の学生と近い距離で生活し、短期間で飛躍的に語学力が伸びたと自分でも感じました。また韓国はすぐ隣の国ですが、共通点があれば相違点も多くあります。特に何事もハッキリと主張する文化に最初は戸惑いながらも良い刺激をもらいました。

留学を終えて変わったことは語学力だけではありません。曖昧だった自分の将来やりたいことが具体化し、挑戦・努力・経験により自信を持つようになりました。

私が一番皆さんに伝えたいのは、とにかくチャンスを存分に活用して自分の可能性を広げてほしいことです。小樽商大は「北の外国語学校」と呼ばれるほど他大学よりも留学に力を入れており、挑戦・努力する学生を応援する制度が充実しています。時間とチャンスが豊富な大学生のうちに是非一度海外に飛び出してみてください。



ロシア極東連邦総合大学

国や民族、文化の違いを知ることは「人生の勉強」になる



菅沼 康太

商学科 / 4年・北海道函館商業高等学校出身
※左が筆者

私は入学後、第二外国語としてロシア語の勉強を始めました。1年生の夏休みに3週間の短期語学研修に参加し、本気でロシア語を勉強したいと思うようになり交換留学を決めました。留学中は、定期的に資格試験(ロシア語版TOEFL)があり、その取得を目指し日々勉強しました。ウラジオストクは日本から近く、ロシアといってもアジア製品が多く非常に暮らしやすい環境でした。しかし、街では英語がほとんど通じないので最初は苦労しました。ロシア二大都市であるモスクワ、サンクトペテルブルクへの旅行で見た数々の建築物、世界遺産は素晴らしい思い出です。ロシアでの生活は、とても刺激的で飽きることはありませんでした。様々な国からの留学生との会話の中で文化の違いをたくさん知り、国や民族、政治への関心が以前より強くなりました。留学は学生のうちにしかできませんし、語学能力の成長以外にも様々な「人生の」勉強になります。色々情報収集している方もいるかもしれませんが、結局は行ってみなければわからないことだらけです。それはどこの国に行っても同じです。小樽商大は国際交流センターの方々の親身な対応や、緑丘会の支援金など、留学するにはぴったりの大学なのではないかと思います。迷っている人は是非、思い切って留学してみてください!

経済学科

変化する経済社会で活躍する 知識と実行力のあるリーダーとなろう

新しい日本の教育制度のもとで1949年に小樽商科大学が誕生し、同時に経済学科が誕生してから60年以上が経過しました。現在、もっとも多くの教員を擁する学科として、前身の小樽高等商業学校時代からの自由で実践的な教育という伝統を大切にしながら、基礎的知識の獲得と経済社会の変化に対応できる力の向上を目指した経済学教育を進めています。

教育方針として、次の3つを掲げています。

1. 論理的な思考力を育成する。
2. 国際的な視野を養う。
3. 実践的な能力を育成する。

国際経験、実務経験を有する教員も多く、学びながら教え、教えながら学ぶ、という姿勢で研究教育活動を行っています。教員の紹介が経済学科のWebページにありますのでご覧ください。

URL <http://www.otaru-uc.ac.jp/dept/econ/welcome.html>

経済学科の特徴

経済学は、世界中の大学で研究教育されており、教育の内容はかなり標準化されつつあります。経済学の基本的な概念は各国の人に共通のものとなってきています。

本学科では、独自の研究成果を踏まえつつ、国内外の経済学の成果をバランスよく教える工夫をしています。多数の教員が国内外の大学で博士号、Ph.D.を取得しており、体系的な枠組みを保ちながら現代の課題に取り組む授業を組んでいます。グローバルな経済を視野に入れた国際マクロ経済学、現代ファイナンス理論はその一例です。

経済学科は商学部の4つの学科の中の1つであることから、他学科の科目も並行して履修することができます。

また、単位互換の取り決めにより、北海道大学経済学部の特定の科目を履修することができます。



Voice!

経済学で学ぶことで身につける 世の中の本質を見極めるための力



晴枝 卓也

経済学科 / 4年
北海道大麻高等学校出身

Q. この学科を選んだ理由は何ですか？

A. 経済=カネと思っていましたが、1年次に履修した経済学入門の講義で経済学に触れるうちに、経済というのは世の中の本質を見極めるための力なのだ気づき、興味を持ちました。

Q. どんなことを勉強していますか？

A. 与えられた条件でどのように行動するかを学ぶ、ゲーム理論について勉強しています。そのほかにも、国際貿易理論や統計学など、総合的に経済的な視野を養う講義が充実していると感じます。公共経済学では税金がもたらす経済への影響や、二酸化炭素排出権取引の際に発生する問題など、どのようにすれば人々が一番幸せな状況になるかを学び、経済の奥深さを知りました。

Q. 後輩へのメッセージをお願いします

A. 商大は自分がやりたいと思うことができる環境が整っている大学だと思います。みなさんにも、商大でたくさんの素晴らしい仲間たちと出会い、ともに成長し魅力のある人になってほしいと思っています。

主な授業科目

- ミクロ経済学
- マクロ経済学
- 現代経済理論Ⅰ・Ⅱ
- 統計学
- 経済史
- 国際経済学
- 財政学
- 金融論
- 国際貿易理論
- 国際マクロ経済学

▲中島大輔教授による「産業組織論」の講義

Department of Commerce

商学科



世界に通用するビジネスの基礎となる学問

本学の前身である小樽高等商業学校が1911年に開校され、そこでは実践的な商業教育が尊重されていました。1949年の新制大学となった際に商業学科と経済学科が設けられ、この商業学科のなかの商学コースが平成3年に商学科に改組されました。

本学科は、小樽高商以来の実践的教育を念頭に置きながら、ビジネス社会においてプロフェッショナルとして活躍できる人材の育成を目指しています。本学科における教育研究内容は、ビジネスに関わる最先端の科学領域と言えます。

本学科は、商学・経営学・会計学の分野に高い関心を持ち、将来、プロフェッショナルとしてさまざまな事業の最先端で活躍したい、と考えている意欲あふれる学生を求めています。

商学科の特徴

ひとことでは、商学科では「ビジネスを行うための理論と方法」を学びます。ビジネスの主体には個人や公的組織など各種のものがありますが、本学科では、特に「企業」における各種の活動（企業経営）をいかにすれば合理的に行えるかを考えることができるように、さまざまな分野（経営、流通・マーケティング、金融・財務、会計）からの理解と知識を学びとってもらいます。

このことのために、1年次から段階的に授業科目が配置され、3・4年次には、原則最大15名程度までを単位とするゼミナール教育（特定分野における掘り下げた教育研究）が行われ、最終的には、ゼミナール学習の成果として卒業論文の作成が求められます。

Voice!

自分が興味のあることをとことん学び、先生や仲間と語れる充実した日々



谷藤 花梨

商学科 / 4年
北海道札幌清田高等学校出身

Q.この学科を選んだ理由は何ですか？

A.私には、「起業したい」という思いがありました。高3の受験期にその思いが強くなり経営学を学ぶために小樽商科大学に入学し、さらに経営学を専門的に学ぶために商学科を志望しました。

Q.どんなことを勉強していますか？

A.経営学関連科目を中心に受講することで、ビジネスの実践で必要となる経営戦略論、経営管理論、経営組織論、環境経営論など多面的な知識の習得に努めています。なによりも企業分析力が身に付いたと感じています。“経営学原理Ⅰ・Ⅱ”では、身近な企業の事例分析をもとに経営学の基礎をしっかりと学び、“環境経営論”では、昨今重視されている環境に配慮した企業活動について多くの事例と共に学びました。

Q.後輩へのメッセージをお願いします

A.大学には自分を変えるチャンスが沢山埋まっています。受身な性格だった私ですが、主体的に動くことで良い先生や仲間との出会いがありワクワクする日々を過ごしています。皆さんも物怖じせず、様々なことに挑戦してください！

▲加藤敬太准教授による「経営学原理Ⅱ」の講義

主な授業科目

- 流通システム論Ⅰ・Ⅱ
- マーケティング
- 貿易論
- 保険論
- 経営管理論
- 労務管理論
- 環境経営論
- 簿記原理
- 財務会計論
- 管理会計論

Department of Law
企業法学科

法律により守られ創造する社会の 有能な人材を育成します

1991年に生まれた、本学では一番新しい学科です。歴史的には、本学の前身である小樽高等商業学校の創立当初から充実した法学教育が行われており、戦後、新制大学として出発した際に専任スタッフの充実も図られました。そして1978年には商業学科が商学コースと経営法学コースに分かれましたが、そのときから実質的に法律専攻の学科として機能していました。学科発達と同時に大学院の中に企業法学コースが設けられ、現在2つの講座、20人弱のスタッフを擁し、さらなる発展をとげようとしています。

法律は社会システムの基本であり、社会の骨格を作るものです。企業法学科では、実業界を目指すにせよ、官庁で働くことを考えるにせよ、法律を学ぶことによって社会に貢献しよう、という心意気のある人材を求めています。

企業法学科の特徴

企業法学科の法学教育は充実したスタッフが憲法、民法、刑法、商法などの伝統的・基本的分野を担当し、法学部と遜色のないカリキュラムを用意しています。これに加えて、本学の教育理念が実学指向であることにかんがみ、知的財産法、国際経済法などの先端的・応用的分野も学ぶことができます。

さらに単科大学である特徴を活用して経済学科や商学科など他学科の講義に参加することができます。これによって商法、マーケティング、国際貿易理論など関心を持ったテーマを多角的に学習することができます。

3年以上のゼミナールにおいては、少人数指導制のもと、現代社会に生じる多様な法律問題について、その解決を自分の頭で考えることにより、正義・衡平の感覚と論理的思考能力を身につけることができます。

ゼミナールの特徴は、教員が一方向的に話す講義とは異なり、教員と学生あるいは学生同士が議論するところにあります。自己の意見を論理的に述べる、相手の意見を理解する、双方の違いをふまえて議論するといった作業を通して、リーガルマインドが形成されていきます。

卒業生は、多様な業種の民間企業に就職しています。また、難関といわれる公務員試験にも毎年合格者を輩出しています。また本学あるいは他大学の大学院へ進学しその後、研究者となる者もいます。最近はこちらに加えて、ロースクールへ進学する学生もいます。弁護士として活躍する卒業生は少なくありませんが、これからはいっそう法曹分野で活躍する企業法学科卒業生が増えることでしょう。卒業生たちはどんな職業に就くにせよ、本学科で習得した知識と能力を生かし、広く様々な分野で活躍しています。



▲岩本尚稿准教授による「法学」の講義

主な授業科目

- 憲法・基礎Ⅰ・Ⅱ
- 民法・基礎Ⅰ・Ⅱ
- 刑法Ⅰ・Ⅱ
- 商法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 行政法Ⅰ・Ⅱ
- 労働法
- 知的財産法
- 社会保障法
- 国際経済法
- 国際取引法

Voice!

学びの中から自分で課題を見つけ 結論を導いていくことが必要



三浦 千晴

企業法学科 / 4年
 旭川龍谷高等学校出身

Q.この学科を選んだ理由は何ですか？

A.身近に起こる様々な事柄について何が問題なのか、その問題に法律がどのように関係しているのか、問題解決のためにはどうしたらいいのか…ということ学ぶ、まさに実学としての法律学習を通して、法的思考力を身に付けたいと思ったからです。自分の身や権利を守ることに繋がると思っています。

Q.どんなことを勉強していますか？

A.民法や刑法などの身近なものから国際経済法、国際取引法など幅広い分野について学んでいます。他学科の講義に参加し、一つのテーマを法律、経済、商学といった色々な面から多角的に見ることもできます。

Q.先輩へのメッセージをお願いします

A.大学生活を充実したものにするには、入った大学で何をやるのかだと思います。自分が学びたいこと、やりたいことを見付け、それにとことん本気で取り組んでください。受け身ではなく、自分から進んで学んでいく姿勢が大切です。あと一歩踏み出して挑戦する勇気が自信に繋がっていきます。

Department of Information and Management Science

社会情報学科

複雑な現代社会の問題を把握し、 情報技術を駆使して 最適なソリューションを見いだす

IT (Information Technology; 情報通信技術) により、社会構造、産業構造、経済活動、個人の生活等、世の中のすべての仕組みやあり方が変革を遂げています。社会情報学科は、このように急速な進展を続ける情報通信技術、および、それらが活用される複雑、多様な社会環境に対して、幅広い知識と技術を備え、合理的に問題を解決できる人材の育成を目指しています。

本学科の前身は昭和40年に設置された管理科学科であり、平成3年に現代社会のニーズに応えるために改組、拡充し、現在に至っています。

社会情報学科の特徴

企業、国、自治体、学校など社会のあらゆる組織は、それぞれの目的を達成するために日々、行動していますが、どのような行動を取るかの判断・決断が適切でなければ、目的を達成できなかったり、組織や組織を構成する人員、環境などに大打撃を与えることもあります。近年、社会や組織の仕組みはますます複雑化し、情報の量も増加の一途をたどっていることから、経験や勘のみにより、この最善な判断・決断を行うことは困難です。

したがって、いかに必要で役に立つ情報を収集、蓄積するか、また、どうやって生の情報を分析・加工して最適なソリューションを導き出すかが重要となります。社会情報学科では、このために次のようなことを学びます。

- a) 現代社会の各組織における仕事や計画を時間、労力、資金、資源の無駄なく効率的に行うための方法論、及び、そのためのシステムのデザイン、分析、運用に関すること。
- b) 組織内外とのコミュニケーションの仕方、組織の円滑な運営のための情報システムの構築法、その際に必要となる組織における個人の役割、組織化のノウハウなど。
- c) 情報の収集・蓄積・処理・通信など情報システム構築のための多彩な技術、及び人間の情報処理。

本学科で学ぶことは極めて融通性のある適用範囲の広い学問です。世界規模の政治や経済に関わる問題、地域開発の問題等から、私達個人の身の回りの問題までを扱うことができます。本学科で論理的、合理的なものの考え方を十分に学んで技術を修得すれば、必ずや近い将来、社会の重要な一員として貢献できることでしょう。



▲大津晶准教授による「社会計画」の講義

主な授業科目

- オペレーションズ・リサーチ
- 意思決定論
- 組織コミュニケーション論
- デジタルデザイン論
- システム戦略論
- ビジネスシステム論
- 情報処理
- 認知科学
- ソフトウェア科学
- コンピュータネットワーク論

Voice!

問題解決の道筋を立てるため 物事を理論的に考える習慣が身に付く



松坂 みゆ

社会情報学科 / 3年
北海道札幌西高等学校出身

Q.この学科を選んだ理由は何ですか？

A.入学時からソフトウェアや情報システムの仕組みについて学びたいと思っていました。1年時の“社会情報入門II”という授業は、社会情報学科の基礎的な部分を見ることができ、履修してよかったと思っています。この講義で私は社会情報学科へ入ることを決めました！

Q.どんなことを勉強していますか？

A.コンピュータやネットワークのシステムの基礎を学んだり、社会の事象をモデル化し、問題解決のためにはどうすべきかを考察しています。それまで、感覚的に物事をとらえがちでしたが、問題解決の道筋を立てるため理論的に考えるようになりました。また、ネットワークの勉強の中で情報モラルなども気にするようになりました。

Q.後輩へのメッセージをお願いします

A.小樽商大は自分のやりたい勉強をとことん突き詰めたり、多くの人と意見を交換して自分を高めることができます。校舎も少しずつ新しくなって最先端の学習システムも導入されていますし、充実した大学生生活を送ることができますよ！

一般教育等



人間として生きるために 必要な教養を身につけます

基礎科目、専門共通科目

主に1・2年次で学習する「基礎科目」は、「人間と文化」「社会と人間」「自然と環境」「知(地)の基礎」「健康科学」の5つの系に分かれています。それらは、文学、哲学、心理学、歴史学、社会学、社会思想史、化学、生物学、物理学、数学、健康科学といった、人文・社会・自然科学の諸分野に関する科目群から構成されています。さらに、これらの分野をより専門的に勉強したい人には「専門共通科目」や「研究指導(ゼミナール)」が設けられています。

なぜ大学でこのような科目を学ぶのでしょうか。それは、それらの科目が現代社会を生きていくのに必要な教養を育むからです。また同時に、経済学、商学、法学、情報学などの専門分野を勉強するには、人間の心理や行動、社会の歴史や仕組み、自然環境、異文化などに関する基本的な理解が不可欠です。

知(地)の基礎系

基礎科目の「知(地)の基礎」系は、新入生を対象に大学で学ぶために必要な接続教育(キャリア教育)科目「総合科目I・II・III」「基礎数学」「基礎ゼミナール」と、地域視点を養う地域キャリア教育科目「地域学」「地域活性化システム論」「グローバリズムと地域経済」で構成されています。接続教育科目では、専門科目を学ぶための基本的な知識、文献の調べ方や発表、卒業後の進路に対する考え方(キャリア意識)の学び、地域キャリア教育科目では、地域社会・北海道の一員としての意識、意欲及び責任感を育成することを目的としています。(地域キャリア教育科目は、グローバルマネジメント副専攻プログラムの科目でもあります。)





“北の外国語学校”と名を馳せた 本学の伝統が息づいています

本学は前身の小樽高等商業学校以来、英語のみならず、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語など、様々な言語を幅広く教育し、全国的に「北の外国語学校」として知られてきました。実践的な言語教育のためにネイティブ・スタッフを多数揃え、コンピュータ支援語学実習など先進的な教育メソッドの導入により、多様な外国語教育が可能な教育環境を整備しています。

現在では新たに朝鮮語を加え、7言語を外国語科目として開設するとともに、外国人留学生のための日本語科目も提供しています。1・2年次では、必修の語学の他に、言語学やコミュニケーション論など、言葉＝文化に関連する様々な科目が開設されており、さらに3・4年次においても、外国語上級やビジネス英語など、発展的な語学関連科目が用意されています。つまり、商学部でありながら、入学してから卒業までの4年間、持続的な外国語学習が可能なカリキュラムとなっており、「北の外国語学校」の伝統は今に受け継がれているのです。

加えて、英語の場合には、英語科教育法や英文学概論など、英語科の教員免許取得に必要な専門科目が相当数あり、さらには研究指導（ゼミ）も複数開かれていますので、英文科にも負けない科目充実度があります。

言語センターは、このような言語教育をサポートするために、e-ラーニングシステムを備えたLL教室をはじめ、コンピュータによって学生の自習を支援するCALラボや、オンライン学習と対面授業を融合したブレンディッド・ラーニング（BL）教室などの設備を整えています。また、学生が自由に利用できるマルチメディア・ライブラリー（ML）は、多様な語学教材を豊富にそろえ、外国語習得のための充実した学習環境を提供しています。

外国語を学ぶということは、コミュニケーションの技能だけではなく、日本とは異質な文化・思考を理解することでもあります。一番効果的なのは、言うまでもなく、実際に外国に行き、その地の人たちと接していただくことです。幸い、本学では海外語学研修や交換留学といった国際交流事業が盛んで、言語センターも国際交流センターと協力して、学生の皆さんがグローバル世界に飛び出していくことをお手伝いしています。充実した外国語教育によって、国内はもちろん、国際社会でも活躍のできる人材を育成することが、言語センターの最大の目標です。

「教師になりたい」「教師もいいかな」と 思っている君へ

皆さんのなかにも中学校や高等学校で小樽商科大学出身の先生や教育実習生と身近に接した経験のある人も多いでしょう。本学では右記のような教科の教員免許状を取得することが可能です。

| | 教科 |
|------|-------------|
| 中学校 | 社会 英語 |
| 高等学校 | 公民 英語 情報 商業 |

教員免許状を取得するには、専門の勉強はもちろんのこと、教育学や心理学といった知識も身につけなければなりません。一般学生よりも少しだけですが多くの授業科目を受講しなくてはなりませんので、授業も少人数でアットホームな雰囲気なかで行われています。それだけ熱心な学生が集まっていますので、なかには2教科以上の教員免許状を取得して卒業していく学生もいます。

もちろん、入学したときから「教師になるう」と決めていた人ばかりではなく、2年生から履修を始める人も多くいます。

本学ではできる限り幅広い教養を身につけた「一人前の社会人」が教師になるのが健全であり、そのような教師がこれからの学校を支えていくべきであると考えています。そのために、入学当初から教壇に立てるまでサポートする体制を整えています。

教職課程について詳しく知りたい方は是非とも「小樽商科大学の教職課程について」(http://www.otaru-uc.ac.jp/hkyomu1/kyomujyoho/T_license/index.html)を覗いてみませんか。



実学重視の学びを教育の場に活かして

北海道中標津高等学校

教諭 辰己 幸一（平成8年 経済学科卒業）

私は経済学科を卒業後、一度は民間企業に就職しました。社会人として働いていく中で、学生時代に学んだことがどのように活かされるのか、何を大切に生活していくべきなのか、そんなことを若い世代と直接かかわりながら伝えていきたいと考え始めるようになり、教師の道に憧れを持ちました。大学では教職科目を履修していなかったため、科目等履修生として商大に復学し、幸い教員採用試験に合格することができました。

社会情勢が変化の中で、子供たちに伝えることも日々変化しています。実学重視の商大で学んだことや経験は、ビジネス教育において活かされる場面も多く、商大卒業で本当に良かったと思います。商大は教職員OBの結びつきも強く、毎年行われる教職研究会での情報交換を始め、相談できる先輩や仲間がたくさんいることも大きな魅力です。

Voice!

英語の楽しさを知るための工夫と 適切な学習法を伝えられる教師になりたい



佐藤 亮介

社会情報学科 / 4年
札幌第一高等学校出身

Q. 教職課程を選んだ理由は何ですか？

A. 高校生の頃、英作文の添削や、質問に丁寧に答えて頂いた先生のおかげで英語が好きになったのがきっかけです。受験時は知らなかったのですが、その先生も商大出身でした。

Q. どんなことを勉強していますか？

A. 履修生が比較的少なくあたたかな雰囲気なか、英語系の科目では、文学・英語学・文化理解など幅広く学んでいます。自作の教材を使って授業を行い評価し合うような授業（教材開発論）もあります。学生が英語に触れ、英語を使う機会が多いのも特徴です。1年生から計画的に履修していけば、取得単位もさほど負担となることはなく、一般の科目とは扱われる内容が全く違うので、新しいものを学ぶ楽しさや、教育という視点から物事を見られる喜びを感じます。

Q. 後輩へのメッセージをお願いします

A. 教職課程の受講生は、卒業後すぐに教職に就くことを目指して履修している人だけではなく、教育に興味がある人や、英語が好きな人、社会人を経験してから教員になろうという人など様々です。少しでも興味があればいくつか授業を取ってみることをオススメします。

小樽商科大学OB教員の集い 教職研究会

昭和62年に本学の教員や、本学卒業の高校の校長、先生などが発起人となり、本学卒業教員の集い「教職研究会」が発足。言語センターの大島教授を会長に、現在約300人の会員がいます。1年に1回本学で、教員志望の現役学生も参加して、研究会（研究発表、講演、シンポジウム）が行われます。



大学院商学研究科 現代商学専攻

Graduate School of Commerce, Major in Modern Commerce

博士課程（前期・後期）



小樽商科大学大学院商学研究科
現代商学専攻長

教授 金 鎔基

学部学生による 大学院科目履修制度

本学大学院現代商学専攻への進学を希望する優秀な本学学部在学学生には、学部4年次から大学院の科目履修の機会が与えられます。所定の条件を満たしていれば、早期に大学院教育に接することができ、履修した科目のうち10単位を上限に大学院修了要件単位として認定されます。このように、学部と大学院の一貫した教育プログラムは本学の大きな特徴です。

12大学大学院研究科間での 社会人転入学制度

勤務地の変更などにより通学が困難になった社会人大学院生のために、全国の国立大学法人12大学大学院研究科の間で転入学を認める制度があります。書類選考と面接が課せられますが、転入学試験はありません。また、入学検定料と入学金も徴収されません。

研究型大学院として、少数精鋭体制による より高度な教育研究を実現 真の高等教育を自分のものに

本学大学院は昭和46年（1971年）の設置以来、国内外で活躍する研究者やビジネスの現場で活躍する高度な人材を数多く輩出してきました。本学大学院商学研究科はアントレプレナーシップ専攻と現代商学専攻に分かれており、現代商学専攻には、博士前期課程と博士後期課程が設置されています。前者は通常2年間の課程で修士（商学）の学位を取得することができます。また、後者は通常3年間の課程で博士（商学）の学位を取得することが可能になります。博士前期課程の入学定員は10名、博士後期課程のそれは3名です。

アントレプレナーシップ専攻はビジネスの実践的能力を育成する専門職大学院ですが、現代商学専攻は、特定の研究テーマを、関連の理論や知識を学びつつ追求し学術論文にまとめるテーマ研究型大学院です。

博士前期課程には、経済学コース、国際商学コース、企業法学コースおよび社会情報コースの4つのコースが設けられています。単一研究科でありながら、文系総合大学に準ずる充実なファカルティ資源を備えた本学ならではの特色です。商学に限らず社会科学全般にわたる幅広い分野の

研究が可能といえます。留学生が多いこともあり、英語で行われる授業もかなりあります。研究者をめざす人はもちろん、生涯教育の一環として研究をつづけたい人など、多様なニーズに答えてくれるはずです。

また、博士後期進学類と総合研究専修類という2つのカリキュラムが用意されており、進路に合わせた選択ができます。ただし、博士後期進学類は国際商学コースだけに設けられており、他のコースには「専修類」のみが用意されています。さらに、国際商学コースでは高校における「商業」と高校及び中学における「英語」の専修免許（1種免許状を取得した方の場合）を取得することが可能です。英語の免許を取得しようとする院生には英語による授業が豊富に提供されています。

博士後期課程は、博士前期課程で修得した基礎的な研究能力を一層発展させ、博士論文の完成を目指す課程になります。本課程を修了することにより、学術研究者および高度専門職・リーダーとしての道を歩むことが可能になります。



大学院商学研究科 アントレプレナーシップ専攻

Graduate School of Commerce, Major in Entrepreneurship (Master of Business Administration)

専門職学位課程 (ビジネススクール)



小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻長

教授 籾本 智之

学部・大学院 5年一貫 教育プログラム

学部で優秀な成績を修めた学生は、3年で大学を卒業し、本学の大学院に進学することができます。大学院は、現代商学専攻、アントレプレナーシップ専攻のいずれでも可能。夜間主コースの学生にも道が開かれています。5年間で修士(商学)号又はMBAを取得できる、能力向上を目指す学生のための制度です。また、大学院進学時の入学試験は行わず、さらに大学院入学料も徴収しません。

新規事業を創造し、既存事業の革新を行い、 組織改革を実行しうる人材、 それが、アントレプレナーです

利益追求が目的の営利組織と公共性が目的の非営利組織は全く別物であると考えている人がいるかもしれません。しかし、従業員がいて、顧客がいるという点では全く同じです。顧客を意識しながら従業員が協働して目的を果たす。それが一度限りではなく、持続させるためには、組織のマネジメントが必要です。経営者の情熱だけでは空回り、組織の仕組みだけでは堅苦しいだけになるかもしれません。成長に合わせた情熱と仕組み、つまりマネジメントが重要なのです。

新商品や新サービスは顧客にとっていつでも魅力的でなければなりません。既存組織であれば、定期的なモデルチェンジだけではなく、革新的な商品あるいはサービスを提供し続けなければ、生き残ることができません。ごく親しい友人との会話で生まれた革新的な商品あるいはサービスのアイデアは、彼らの起業で実現するかもしれません。商品やサービスは、作り方や提供の仕方を大きく変えることで、顧客に新しい価値を提供できます。つまり、イノベーションが不可欠なのです。

組織内のコミュニケーション方法も変えなければ、一段のスピードが要求されるグローバル時代に

乗り遅れます。目的がわからず、経緯ばかりで、参加者にとって明日からの役割が見えてこない時間のかかる会議は、目的と役割を明示するディスカッションに変えなければなりません。勉強にはなったが、明日からの行動には結局何も影響しない講演から、聴衆にとって自己の関わりかた、つまり明日からの行動を具体化させる気になるプレゼンテーションに変えなければなりません。

管理職に就くのでマネジメントを理解したい、経営者になるのでマネジメントスタイルに自信を持ちたい、新規事業を組織内でスタートさせたい、起業をして社会貢献したい、社内のディスカッションを変えたい、顧客へのプレゼンテーションをうまくしたい、そんな「○○したい」人のためのトレーニング機関が小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(専門職)、通称、小樽商科大学ビジネススクール(OBS)です。平日夜は札幌サテライトで、そして土曜日は小樽本校で学び、ビジネスリーダーとビジネスイノベーター育成のグローバルスタンダードであるMBA(経営管理修士)を取得して、「○○できる人」になりませんか。



君の大学生活は
いつも夢でいっぱい。
毎日安心して通える制度と
仕組みがあるんだ！

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 前期授業開始
- 履修登録
- 定期健康診断

- 半期制科目中間試験
- 緑丘祭・緑宵祭

- 創立記念日(7月7日)
- 前期授業終了
- 前期定期試験
- 卒業論文締切(9月卒業予定者)

- 夏季休業
- 夏季集中講義(前半)
- 夜間主コース夏学期

- 夏季集中講義(後半)
- 学位記授与式(9月卒業)

- 後期授業開始
- 研究指導オリエンテーション

- 半期制科目中間試験

- 学科所属オリエンテーション
- 冬季休業

- 卒業論文締切

- 後期授業終了
- 後期定期試験

- 学位記授与式

Campus Calendar

商大学食に
GO!

学生食堂はみんなの憩いの場所。
おいしいメニューと、明るい雰囲気。
楽しく食事しよう！



丼物
No.1

チキン竜田丼
979kcal 410円



麺類
No.1

ピリカララーメン
721kcal 370円



白身フライ
309kcal 113円



チキンおろしだれ
574kcal 302円



学生食堂



生協購買部



文房具や雑貨の他に、パンやおにぎり、カップラーメン、飲み物も揃っています

学生に人気の、
おすすめメニューを
紹介します！

●食堂営業時間 平日 11:00 ~ 14:00 16:00 ~ 18:30
●生協購買部営業時間 平日 8:30 ~ 19:30 土曜 11:30 ~ 13:00

(注) 学生の休業期間は営業時間が変更になります。

追い込み中
なのです



冬休みだー!





学生だけで創るキャンパスイベント 大学祭 (緑丘祭&緑宵祭)

昼間コース主催の「緑丘祭」と夜間主コース主催の「緑宵祭」。学生だけで創る熱気溢れる商大の一大イベントだよ！開催期間は3日間。毎年のテーマごとに、ユニークな新イベントが登場しているんだ！



緑丘祭 実行委員会

実行委員長 谷内 広夢

商学科 / 3年
札幌山の手高等学校出身



緑丘祭実行委員会は、毎年6月末に開催される商大で最もアツいイベント、緑丘祭を企画・運営する委員会です。6部署に分かれ、企業からの広告・協賛の依頼や装飾物の製作などを委員が中心となって動いています。私たちが作ったものでお客さんが喜んでくれると嬉しいですよ。今年のテーマは“Rock you 祭”。岩(Rock)のように固い団結力で最高(Rock)な緑丘祭をあなたたち(You)と創るといふ想いを胸に、ミス・ミスター商大コンテスト、おばけ屋敷など多くの企画を行っています。6月が終わるまで余裕のない日々が続きますが、緑丘祭が終了した瞬間の達成感を目指して委員一同全力で準備しているので、一緒に最高の緑丘祭を創りましょう！

緑宵祭 実行委員会

実行委員 赤平 涼

経済学科 / 3年
青森県立弘前実業高等学校出身



私たちは4月から活動を開始し、実行委員を中心に参加する一人一人が「緑宵祭」を作りあげていきます。学年の枠を超えて交流を深めることができ、毎年充実した内容となっています。スポーツ大会やステージでのイベントやライブなど様々な催しを企画・運営していきます。景品も豪華なものとなっており、歓喜の声が沸き立ちます。多忙な企画・運営の中で培われる結束力も魅力の一つです。さらに、自分自身の成長の糧にもなることでしょう。これから祭りにむけて、全員が楽しめる、かつ一人一人の思い出に残るようなイベントを作りあげていけるよう一致団結していきます。

学生主体の学術的行事 インナーゼミナール大会

ゼミナール協議会

協議員 大場 俊貴

商学科 / 4年
北海道千歳高等学校出身



私たちは、ゼミナール活動の振興や交流を目的として活動しています。多様な取り組みの目玉が「インナーゼミナール大会」です。この大会では、参加ゼミナールに日頃の研究成果を発表し合っただけにより、ゼミナール間の研究交流を図っています。大会を通して、自分たちの研究活動を振り返ることが出来たり、また他のゼミナールの発表から活動のヒントを得られることも少なくありません。本学では幅広い分野のゼミナールが開講されているので、大学生生活を通して深めたい研究にきっと出会えます。ぜひ皆さんも商大で自分だけの学びを見つけて下さい！

昼間部学生自治会事務局

自治会会長 稲童丸 翔

商学科 / 3年
札幌第一高等学校出身



学生自治会では、本学学生のかかえる問題の解決に努め、日々、大学側との協議を行っています。また、活動補助金という形で部・サークルに対して援助をすることや、学科選択や就職活動の支援を目的とする冊子の発行を通じて、「学びにかかわる情報発信」を行うことも自治会の役割の一つです。その他にも、受験生歓迎活動など活躍の場は多岐に渡ります。少ない事務局員で業務を行うため、ときに困難な場面もありますが、学生・大学職員をはじめとする関係各位のご理解・ご協力を頂きながら、学問や課外活動に取り組める快適な環境づくりを目指して活動しています。



ゼミ生同士の交流イベントを企画するゼミ協や、大学との協議も行う自治会など、快適で有意義な大学生生活を送るために日々活動している先輩たち。キミも大学生活の主役を目指そう！

文化系
サークル

- 室内管弦楽団
- ブレクトラム・アンサンブル (マンドリン)
- 合唱サークル
グリー&カンターレ
- アカペラサークル「AIRS」
- フォークソング部
- ジャズ研究会
- 軽音楽部「ECHOES」
- 夜間主軽音楽部
- ESA (英語部)
- アイセック
(海外インターンシップ運営)
- 囲碁将棋部
- 演劇戦線
- AP (会計プロジェクト)
- 緑法会 (法律勉強会)
- 文芸サークル「アジュナシア」
- 茶道部
- 写真部
- 小樽商科大学「翔楽舞」
- 「学園だより」学生編集部
- 小樽笑店
(地域活性化プロジェクト)
- 国際交流サークル
- 現代経済研究会
- 地獄坂工房 (商品製造販売)
- 美術サークル「メロコトン」
- 放送サークル「たるもじゅ」
- 商大充 (商大生活充実サークル)
- 料理サークル「オレオ」
- アクセル (ストリートダンス)
- IPC (情報処理サークル)
- Career design project [CDP]
- 小樽商大ポケモン好きクラブ
- Moorish (アウトドアサークル)
- 哲学ディベート部
- 創作活動部
- 映画鑑賞同好会

応援團



第百一代応援團團長
中野 史崇

経済学科 / 2年
北海道小樽潮陵高等学校出身

全力で応援し、
ともに喜びを分かち合おう！

応援團は今年で百一代を迎える歴史ある団体で、現在は団員12人、学内OB13人マネージャー3人の計28人で精力的に活動しています。2年生が團長、副團長、参謀、團旗長、鼓手長などの役職に就いており、1年生は新参として、週に3回程度練習をし、イベント前には合宿を行ったりします。

我々応援團は、商大の様々な団体を応援するとともに、北海道大学応援団との対面式、その他にも餅つき大会や体育大会など学内向けのイベントも企画しています。応援というのはあくまでサポートですが、応援されることでいつもより力を出せたり、頑張れることだってあります。人のために全力で応援し、ともに喜びを分かち合う、そんな素晴らしいさを応援團で味わってください。

我々は、ともにそんな応援團の伝統を受け継ぐ仲間を待っています！



アカペラサークルAIRS



代表
吉田 瑞記

社会情報学科 / 3年
北海道札幌東高等学校出身

初心者大歓迎！
声だけで奏でるハーモニー

私達は現在、総勢100名を越えるメンバーで活動をしています。週に1回全体での練習があり、加えてそれぞれのグループで練習をしています。発表の場は様々あり、カッコいいライブハウスでの演奏や、地元のお祭りなどでの演奏など、色々な人の目に触れます。アカペラは大学から始める人がほとんどなので、皆が同じスタートラインから始めることができます！声だけで音楽を奏でる、幅広い魅力をもったアカペラを、皆さんも始めてみませんか？



夜間主 バドミントンサークル



代表
三浦 大岳

経済学科 / 3年
北海道札幌藻岩高等学校出身

先輩や仲間とのつながりが
学校生活の助けにも

私たちは毎週月曜、木曜の週2回第2体育館でバドミントンをしています。このサークルは夜間主の生徒が中心なので夜間主の授業が終わる夜9時頃から活動しています。人数は日によってまちまちですが大体20人くらい集まります。サークル内はバドミントン経験者のほうが少ないですが、毎回楽しむことを目標として活動していますので、初心者の方でも気兼ねなく参加できると思います。サークルでは先輩との距離も近く、学校生活の様々な助けとなってくれます。毎年イベントも多数企画しており、夏には海に行ってBBQをしたり12月ごろになると忘年会なども行います。夜間主に進学を考えている皆さんにはぜひサークルに参加してほしいと思っています！



国際交流サークル



代表
齊藤 香菜
商学科 / 3年
北海道札幌清田高等学校出身

留学生とともに楽しむ 国際交流イベントを企画



国際交流サークルは、日本人学生と留学生が共に楽しむことができるイベントの企画・運営を行っているサークルです。現在は45人程でお花見やスポーツ大会などみんなのやりたいことを形にすべく活動しています。このほか、10月に開催される商大の一大イベント・国際交流週間にも当サークルが協力しています。英語ができなくても大丈夫!たとえ言葉が通じなくても様々な方法で国際交流はできます。

まだまだ歴史の浅いサークルなので、自分たちの手で歴史を創っていくことができるのも魅力の一つです。その結果、昨年はマジプロとの連携イベントを開催するなど毎年のように活動の幅も広がってきています。大学では積極的に国際交流をしてみませんか?きっと自分の世界が広がりますよ!



体育系 サークル

硬式庭球部



主務
澁谷 裕輔
経済学科 / 4年
札幌第一高等学校出身

テニスを軸に多様な 経験ができるのが魅力



私たち硬式庭球部は創部104年目を迎える、長い歴史をもつ部活です。

しかし、伝統にとらわれることなく、練習は真面目に、楽しむ時は全力で楽しむ部活です!現在は、男女合わせて20名で活動しています。チームとしては、全日本大学対抗王座決定試合でのリーグ優勝を目指しています。個人としても、年に2回行われる大会で、本戦出場やインカレに出場することを目標としています。

特徴としては、テニスの実力を養えるだけでなく、教官テニス部に所属されている先生方や、多くのOB・OG、北海道のテニス界に関わる、他大学の学生と交流することができるなど、テニスを基に多様な経験が出来ることも一つの魅力です。

初心者、経験者は関係なく、テニスに興味のある人なら誰でも大歓迎です!商大に入学した際には、気軽にテニスコートに立ち寄ってくださいね。

ワンダーフォーゲル部



原田 昂輝
経済学科 / 3年
北海道北広島高等学校出身

山を登りきった時の 達成感と爽快感が魅力!



ワンダーフォーゲル部では、登山やラフティング、クライミングといったアウトドアスポーツを中心に、キャンプや紅葉狩りなども交え、北海道の自然と触れ合いながら50名余りで活動しています。当部の大きな特徴は、したいことをしたい時にできる点です。なにかしたいことがあれば、他の部員に提案することで、その活動に興味がある人たちが集まり自由に行うことができます。また、活動や部会に絶対参加というわけではないので、兼部やバイトをしている部員も多く、自分の時間も作りやすいため勉学に励めるのも大きな魅力です。

山を登りきった時の達成感と爽快感はなにものにも代えがたいものがあります。ぜひ一緒に楽しく活動しましょう!

- 硬式庭球部
- 軟式庭球部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- 基礎スキー部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 男子バレーボール部
- トランポリン競技部
- バドミントン部
- ラグビー部
- サッカー部
- 漕艇部
- ヨット部
- ワンダーフォーゲル部
- 陸上競技部
- ゴルフ部
- 剣道部
- 柔道部
- 弓道部
- 合気道部
- 空手道部
- MMA (総合格闘技)
- 卓球部
- 水泳部
- 応援団
- 男子ラクロス部
- 軟式野球同好会「FRANGERS」
- Be-Pal (テニス)
- クイック (バレー)
- clutch (バスケット)
- Liberal (サッカー・フットサル)
- ミントス (バドミントン)
- 卓球サークルSMASH
- Pall mall (フットサル・サッカー)
- torua (フットサル)
- ankle (セバタクロウ)
- 夜間主バドミントンサークル
- 夜間主テニスサークル
- 夜間主バレーボールサークル
- 夜間主フットサルサークル
- 少林寺拳法サークル

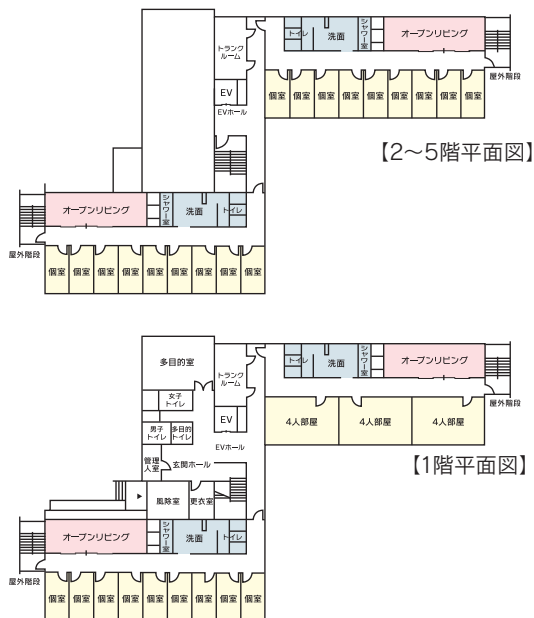


オープンリビング



洗面所

輝光寮 kikoryo



居室の設備

- 学習机・椅子 ■ベッド ■ワードローブ
- 電気スタンド ■ガスストーブ

共用室の備品

- テレビ ■冷蔵庫 ■オープンレンジ ■炊飯器 ■電気ポット
- テーブル・丸椅子 ■洗濯機 ■乾燥機

創立百周年事業の一環として学生寮が竣工され、2011年から入寮が始まりました。旧智明寮の廃寮から約30年を経て建設された新しい寮は、本学が「北に一星あり、小なれどその輝光強し」と謳われることから「輝光寮」と名付けられました。

「輝光寮」は、プライバシーを尊重し個室が基本となりますが、各階にキッチン併設のオープンリビングがあり、共同で利用できます。集団生活を通しての人格形成や、社会性・同窓意識が身に付くのも、寮生活ならではの、全国各地から集まった仲間たちと、快適で安心な学生生活を送ることができます。



多目的室



オープンリビング

●寄宿料等

- [寄宿料, 共益費, 光熱水料(共用・居室), IT回線使用料(個別契約)]
- 1人部屋/約29,000円
- 4人部屋/約24,000円

●定員: 男子(1～3階) 57人, 女子(4～5階) 36人



学生寮 (輝光寮)

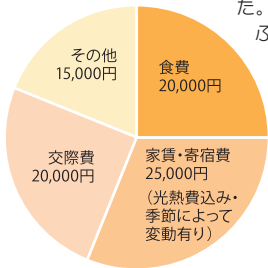
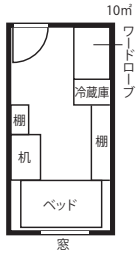
大学まで
徒歩約2分

ルールを決めながら 共同生活を楽しむ

家賃が安いことに加え、建物が新しいこと、また先輩や友達がいつも近くにいるため、大学のことでわからないことがあればすぐ聞けると思い、寮に決めました。ベッドや机なども揃っているのも寮の魅力です。私のユニットでは、共用スペースは使ったら片付ける、汚したら拭くなど、清潔な状態での維持を心掛けています。また、ユニットや寮全体でイベントもっており、共同生活を楽しんでいます。

Q. 小樽に暮らし始めてどうですか？

小樽は、雪がたくさん降るので驚きました。私が入学するとき、実家のほうで花見をして来たというのに、北海道についたら吹雪でした。観光地としても有名な小樽なので、ふらふら出かけるのも楽しみの一つです。



1か月の生活費
仕送り/80,000円



松原 史佳

経済学科 / 3年
名古屋市立名古屋商業高等学校出身

学生寮 (輝光寮)

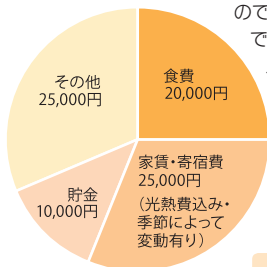
大学まで
徒歩約2分

マイペースに過ごす毎日 小樽の美しさも実感

実家は京都ですが、大学に寮があるというのは、右も左も分からない土地で家探しをする手間が省けるというだけでも大変ありがたいと、進学先を決める要素の一つになりました。小樽の坂道の多さと景色の良さ、冬の積雪量には驚きましたが、食べ物もおいしく、大海原、満天の星空ときらびやかな夜景など、その美しさには日々心を洗われる気持ちです。

Q. 寮ではどんな風に過ごしていますか？

悠々自適に暮らしています。たまに外食もしますが、料理は基本自炊をしています。自室の掃除と洗濯も自分でやりますが、乾燥機があるので洗濯物の干し場所に困ることもなく快適です。共用スペースの掃除やゴミ捨ては管理人の方がやってくれるので大変助かっています。



1か月の生活費
仕送り/50,000円
バイト/30,000円



浜田 紘行

商学科 / 2年
京都市立堀川高等学校出身

アパート

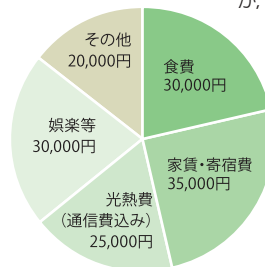
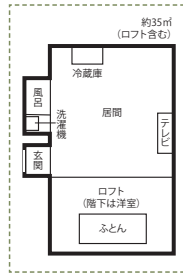
大学まで
徒歩約10分

苦労を経験することで 両親への感謝を実感

社会に出る前に、一人で規則正しく生活できるようにしようと、アパートを選びました。自炊もしていますが、忙しいと学食や外食に頼りがちになり、洗濯や掃除も怠けてしまいがちになります。一人暮らしをして、家事の大変さが身に染みてわかりました。

Q. 一人暮らしをして変わったことは？

早起きには強くなりました。風邪で寝込んだ時など本当に苦勞しますが、生活するうえで必要な事はすべて自分でやらなければならないので、自炊が身に付くなど、社会に出る前の良いトレーニングになっていると思います。また、両親へ改めて感謝の気持ちを持ってたことが、一番の経験だと思っています。



1か月の生活費
奨学金/100,000円
バイト/40,000円



佐々木 康太郎

経済学科 / 2年
北海道札幌開成高等学校出身

下宿

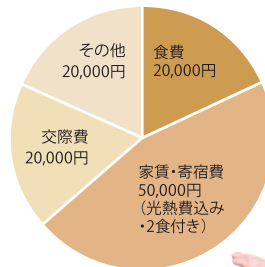
大学まで
徒歩約5分

アットホームな雰囲気 仲間と楽しむ週末も

朝晩の食事が出る、大学への通学時間が短縮できるといったメリットから下宿を選びました。インターネットで探し、ホームページで写真等を見て決めました。食事の心配がいらぬというのは下宿の最大のメリットだと思います。予定があって食事の時間に間に合わない時は連絡をすれば取り置きしてもらえるので、大変助かっています。

Q. どんな生活をしていますか？

大家さんはとても明るく優しい方で、下宿の雰囲気はとてもアットホームです。下宿のいいところは、食事だけではなく、友達がたくさんできることですね。週末にはみんなで集まってたこ焼きや鍋をやっているんです。



1か月の生活費
仕送り / 30,000円
奨学金 / 50,000円
バイト / 30,000円



相吉 俊輔

商学科 / 2年
北海道千歳高等学校出身



商大くんに聞いてみよう! 商大Q&A

商大って、何を学ぶところ?

商大って何?

商大で学ぶ「商学」は、一言で説明すれば、多様な姿を取る経済や企業社会を多様な視点からアプローチする**総合的社会科学**だと言えます。

これと異なり、狭い意味での「商学」として、伝統的に、マーケティングや流通などを指す「商学」もあります。

広い意味の商学

狭い意味の商学

総合性

伝統的



商大には「商学部」の下に次の4つの学科が設けられており、さらに専門的に学ぶことができます。

経済学科

商学科

企業法学科

社会情報学科

4つの学科は関連するの?

商学部の4学科の学問は、それぞれが専門性を追求しますが、企業社会の現場に即してみると、次のように重要な役割を担いながら相互に関連しているのです。

センスやインスピレーションだけで、商品を開発し、企業活動を続けようとしても、必ず限界や矛盾が生じます。実際の企業活動では、確かな経済理論を持ち、データの分析や検証をする能力が不可欠となります。**【経済学科】**

我々が日常で憲法や民法を守って生活しているように、商品の売買に関する法律を守らずに行なわれる企業活動は、あり得ません。**【企業法学科】**

マーケティング戦略は、その時代・市場により、最適なものは異なりますが、現代においては、情報技術(IT)を活用したマーケティングが必須です。**【社会情報学科】**

また、**【商学科】**では、「商学」のみならず、企業経営や会計といった、経済学部と匹敵する内容を学ぶことができます。

学科への所属はどうやって決まるの?

学科への所属は、**2年生**からとなります。

受験を終えてすぐに、興味のある分野を見つけるというのは、とっても大変です。

小樽商科大学では、最初の1年間で大学に慣れ、各学科導入部にあたる授業を受けながら、自分の興味のある分野を見つけ出すことができる仕組みになっています。

この1年間は、とっても大事なのです!

なお、学科の所属は、本人の志望と1年次の成績に基づき決定します。志望する学科に所属できるよう、1年生のうちからしっかり勉強しましょう。



同じ分野の勉強ばかり? 学科に所属したら

そう考える人も多いでしょう。しかし、小樽商科大学のカリキュラムは、とってもフレキシブル。

自分の学科の科目ばかりではなく、他学科の幅広い科目を、自分の興味に応じて、自由に履修することが可能なのです。

経済学科所属のA君の時間割 (イメージ)

| | 月 | 火 | 水 |
|-----|---------|---------|-----------|
| 1講目 | 語学 | | 語学 |
| 2講目 | 商学科の科目 | | 企業法学科の科目 |
| 3講目 | 経済学科の科目 | 文学 | |
| 4講目 | 経済学科の科目 | 経済学科の科目 | 経済学科の科目 |
| 5講目 | | | 社会情報学科の科目 |

「商学部」だけとあなどるなかれ。小樽商科大学の充実したカリキュラムは、学生に幅広い知識を提供し、多くの優秀な人材を社会に送り出しています。

ゼミはどうやって選ぶの?

ゼミナールへの所属は**3年生**からとなります。

2年生の10月にゼミオリエンテーションがあって、ゼミ紹介本等を参考に自分の希望するゼミを選びます。

必ずしも自分が所属する学科から選ばなくてもOKです。一般教育や言語のゼミもあるので、例えば学科に所属しながら生物学のゼミで学ぶこともできるのです。



カリキュラムは

どうなっているの？

大学には、**単位**という概念があります。例外もありますが、週に2回ずつの授業を半年間受けて、試験等に合格すると4単位、週に1回だと2単位がもらえます。



卒業に必要な単位は、合計**124単位**。この中には必ず修得しなければならない分野・科目など、いくつかの履修ルールがあります。

もちろん自分の興味に応じて、124単位を超えて履修することもできます。



※ 昼間コースの例です。

① 共通科目

共通科目は、言い換えれば、「一般教養」科目です。高校の学問の延長や、大学で学ぶ学問の導入部にあたり、1・2年生での履修がメインとなっています。

共通科目のうち基礎科目には、哲学、政治学、生物学、基礎ゼミ、体育実技といった科目が用意されています。

② 外国語科目

「北の外国語学校」と称されるほど、外国語教育には定評のある小樽商科大学。

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語の幅広い科目群の中から、2科目を選択履修します。

③ 学科科目

学科科目は各学科(左ページ参照)の学問分野を専門的に学ぶための科目です。数多く用意された科目群から、自分の興味に応じて選択履修することになります。

④ 研究指導(ゼミ)

研究指導(ゼミ)は小樽商科大学の特徴である、少人数教育の真髄とも言えるでしょう。一つのゼミは少人数で構成され、3・4年生の2年間、特定のテーマについて研究をし、その成果を卒業論文としてまとめます。

研究や討論、ゼミイベントなどを通して、一生の友人に出会える場でもあり、大学生活の凝縮とも言えます。

夜間主コース

ってなんですか？

夜間主コースとは、文字どおり夜間の授業をメインに履修するコースとなります。

昼間コースとの大きな違いは、**学費が半額**となっていることです。

| | 入学料 | 授業料(年額) |
|--------|----------|----------|
| 昼間コース | 282,000円 | 535,800円 |
| 夜間主コース | 141,000円 | 267,900円 |

卒業時には昼間コースと全く同じ学士(商学)の学位が与えられ、卒業証明書や成績証明書にも、夜間主コース卒業という記載はありません。

また、就職に関しても、昼間コースと遜色ない就職率を誇っています。(P18参照)

授業の時間帯は、夜間(17:45~20:55)となっていますが、卒業所要単位124単位のうち、**60単位まで昼間コースの授業を履修**できます。(ちなみに、昼間コースの学生は、夜間主コースの授業を履修することはできません。)

また、夜間主コースは総合コース制となっており、所属する学科に関わりなく、自由に科目を選択履修することができます。

ただし、大学生活の中心が夜間になることや、昼間コースに比べて選択できるゼミや外国語(英、独、仏、中のみ)の科目が少ないこと、コース全体の所属学生が少ないという特徴があることも覚えておきましょう。

自分のスタイルに合わせて進学を考えよう!



CAMPUS LIFE キャンパスマップ

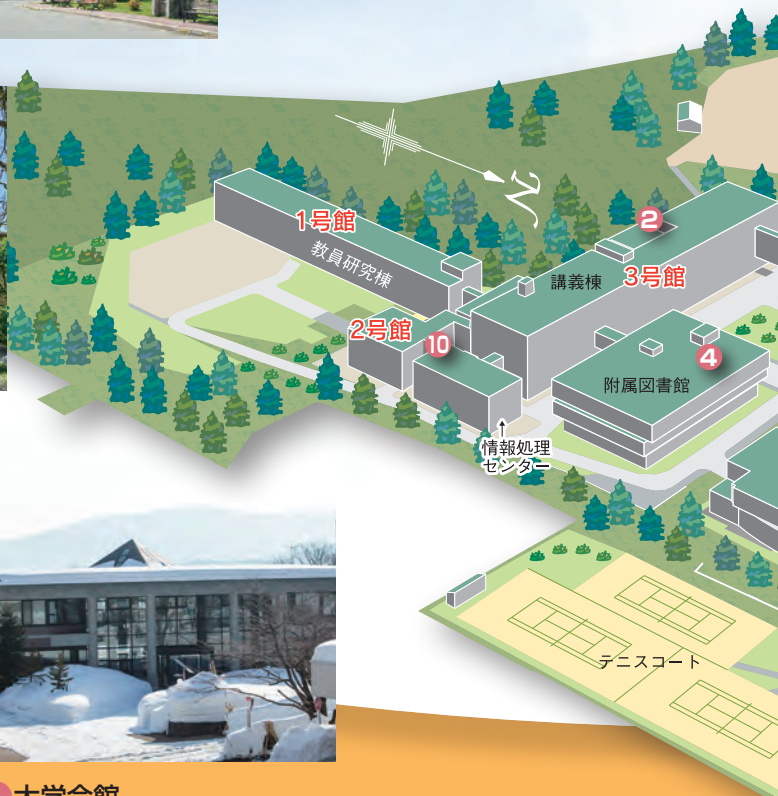


小樽を一望できるキャンパスは
君たちの学業やサークル活動を応援するステージ。
このキャンパスで、君はどんな青春を謳歌するのかな。



②3号館

正門から真正面にある講義棟。大中小の講義室のほか、ゼミ室、実験室、学生何でも相談室などがある、本学の核になる講義棟です。各講義棟や図書館、教員の研究棟などへアクセスします。



⑩2号館

1階にビジネス創造センター(CBC), 2階に情報処理センター, 3~5階に言語センターを有する多目的校舎です。



①大学会館

大学正面を入ってすぐ左手にある建物が大学会館です。食堂、売店、多目的ホールのほか、銀行と郵便局のATMも設置しています。お昼休みにこの場所で過ごす学生も多く、交流の拠点となっています。



学生食堂 (大学会館1階)





9 4号館

1階は大学院の研究室，2階は大学院の講義室，3階と4階は研究者フロアとなっています。アクティブ・ラーニング（AL）対応教室の集中する5号館や3号館へと繋がる校舎です。

3 5号館

新しい時代へ向けた教育の環境が整った講義棟です。1階から2階にかけ、バリエーションに富んだアクティブ・ラーニング（AL）対応教室を備えています。



7 輝光寮

93人を収容できる大学が運営する学生寮です。1人部屋と4人部屋があり，男女別のフロアに分かれた各居室からは，大学のキャンパスや小樽の街が一望できます。

8 国際交流会館

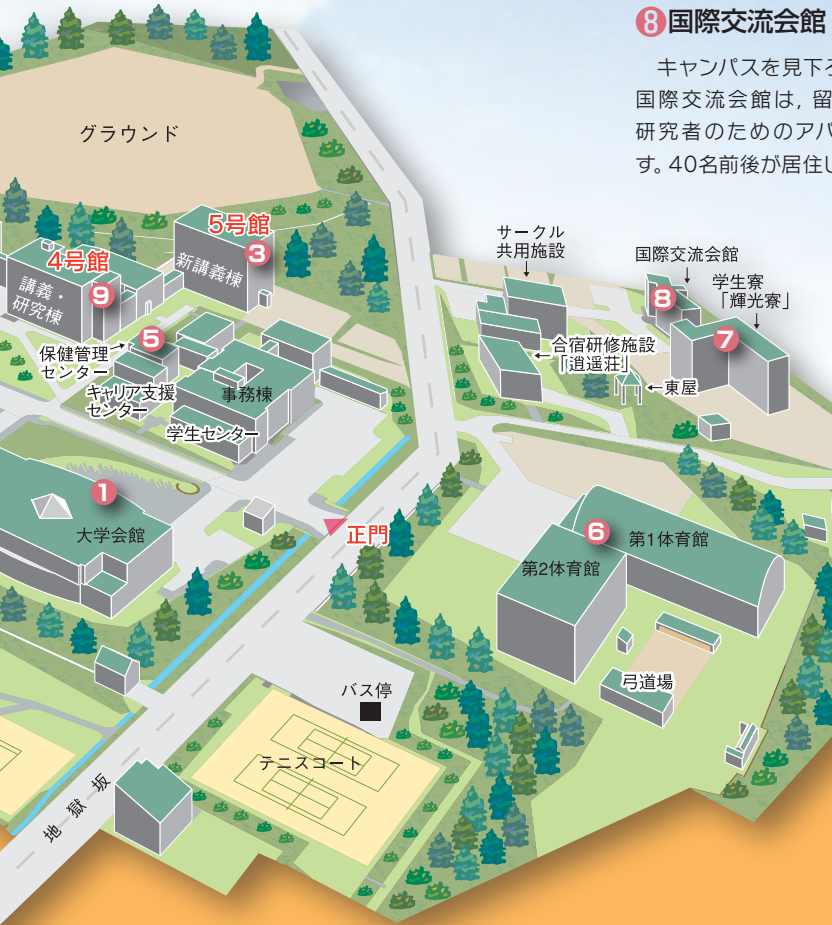
キャンパスを見下ろす斜面に位置する国際交流会館は，留学生や海外からの研究者のためのアパートタイプの寮です。40名前後が居住しています。



6 第1体育館 第2体育館



第一体育館には，バスケットボールコート1面が取れるアリーナ，ウォーキングトラック，シャワー室などの設備があり，第二体育館には，冬期間でも土の上で練習のできるトレーニング場があります。体育の授業や部活動で毎日多くの学生に利用されているほか，入学式や卒業式も行われています。



4 附属図書館

平成26年2月に学生の主体的な学びを支える滞在型拠点としてリニューアルしました。学生同士が話をしながら相互に学びあうコーナーや，グループ学習室，オープン学習室，個別学習コーナーなどがあります。

3階の小樽商科大学史料展示室では，100年を超える本学の歴史を刻んだ貴重な資料を公開しています。



史料展示室
(附属図書館 3階)



5 保健管理センター

学生の健康管理を行う施設です。資格を有した専門スタッフが，学生の健康（精神的健康も含めた）相談に応じています。その他，定期健康診断，応急処置などを行います。



入学科・授業料

| | 昼間コース | 夜間主コース |
|-----|---------------------------------|---------------------------------|
| 入学科 | 282,000 円 | 141,000 円 |
| 授業料 | 半期分 267,900 円 (年額 535,800 円) | 半期分 133,950 円 (年額 267,900 円) |

入学科・授業料の免除制度

次に該当する場合は選考の上、入学科あるいは授業料の全額または半額が免除されることがあります。

●入学科の免除

- (1) 入学前1年以内において入学者の学資負担者が死亡、又は入学者もしくは学資負担者が風水害等の被害を受けたことにより家計が急変し、入学科の納付が困難であると認められる場合
- (2) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

●授業料の免除

- (1) 上記入学科の免除(1)と同じ理由で授業料の納付が困難であると認められる場合
- (2) 上記入学科の免除(2)に同じ
- (3) 経済的理由により学資の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる場合

下宿・マンション

下宿・貸間の情報を大学生協が提供しています。家賃等は家屋の新旧、設備、場所等によって異なりますが、おおむね次のとおりです。

- 下宿(6畳程度・2食付) 50,000円程度
- 貸間(8畳程度) 35,000円程度
- ワンルームマンション40,000~50,000円程度



僕が更新しているよ!

イベントや活動の紹介など、学内やサークルのさまざまな出来事が日々更新されているブログとFacebookがあるよ!最新の情報をゲットして、商大の素顔を知ろう!

▲商大くん

小樽商科大学のマスコットキャラクター。広報等で小樽商科大学の「顔」として登場しています。

●プロフィール

住んでいるところ: 商大の校章(しばらく誰も気づかなかった)
好きな食べ物: 学食のチキン竜田丼、商大ラーメン、流しそうめん
生年月日: 1911年7月7日(100歳を超えました)

商大くん
誕生の流れ



●商大くんがいく! ブログ



<http://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai-kun/>

●Facebook



<https://www.facebook.com/shoudaikun>

ぜひ いいね! してね!!



ブログ



Facebook

奨学金制度

学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資の支弁が困難と認められる者は選考の上、日本学生支援機構奨学金(表参照)が貸与されることがあります。また、地方公共団体、財団法人等からの奨学金については、各推薦基準により適当と認められた者を推薦します。

平成26年度の日本学生支援機構奨学金の種類と貸与人数、本学に募集のあった各種奨学金団体は次のとおりです。

| 奨学金の種類 | 区分 | 貸与月額 | 貸与期間 |
|-------------------|----------|---|---|
| 第一種奨学金 (無利子貸与) | 自宅外通学者 | 30,000円・51,000円から選択 | 採用年の4月から 最短修業年限の 終期まで |
| | 自宅通学者 | 30,000円・45,000円から選択 | |
| 第二種奨学金 (有利子貸与) | 自宅・自宅外共通 | 3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から希望の月額を選択する。 (貸与途中で月額変更も可) | 採用の月から最短修業年限の終期までとする (希望により、採用年の4月にさかのぼって貸与できる。) |

| 種類 | 第一種 | 第二種 | 併用 (第一種・第二種) | 合計 | 在籍 学生数 | 学生総数に 対する比率 |
|------|------|------|-----------------|------|-----------|----------------|
| 奨学生数 | 394人 | 440人 | 81人 | 915人 | 2,291人 | 40% |

- 札幌市奨学生 ●茨城県奨学生 ●福島県奨学生 ●交通遺児育英会 ●あしなが育英会 ●池田育英会 ●栗林育英会 ●山口県奨学金 ●三菱UFJ信託奨学金 ●山口正栄記念奨学金 ●全労済 ●福井県奨学生 ●宮崎県奨学生 ●公益財団法人中村積善会 ●CWAJ奨学生 ●社会福祉法人さばうと21学生支援プログラム ●函館市特別奨学生育英金 ●社会福祉法人さばうと21 ●公益財団法人やまがた教育振興財団 ●千歳市奨学生【書類提出者の推薦のみ】 ●一般財団法人工藤育英会 ●公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

緑丘奨励金

この奨励金制度は、公益財団法人小樽商科大学後援会からの助成金によって設立されており、前年度における学業成績が秀でており、他の学生の模範となると認められる学生に対して支給します。

- 支給額 学部学生……………10万円

アルバイト

学資不足のために就学困難な学生にアルバイトの紹介を大学生協が行っています。主なアルバイトの時給の目安は次のとおり。

- 軽作業/800~1,000円程度 ●店員/700~800円程度
- 家庭教師/小学生 1,600円程度・中学生 1,800円程度・高校生 2,000円程度

ただし、学生に不相当と考えられるものは紹介しておりません。

平成28年度 入試情報

※あくまでも概要ですので、詳細な入試情報については、「入学者選抜要項」または「学生募集要項」でご確認ください。

| | センター試験 | 二次試験 | 募集人員 | |
|--------|--|--|------------------------------|-----|
| 昼間コース | 一般入試前期日程 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 外 数^{①②} 国 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">地歴・公民</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">理科</div> <small>地歴・公民・理科から3科目 ただし、「地歴・公民」において、同一名称を含む科目は選択できません。</small> | <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">英</div> <small>英語のリスニングは行いません。</small> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">数</div> <small>国語・数学のうち 得点の低い教科を 1/2に換算します。</small> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国</div> </div> | 280人 | |
| | 一般入試後期日程 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 外 数^{①②} 国 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">地歴・公民</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">理科</div> <small>地歴・公民・理科から3科目 ただし、「地歴・公民」において、同一名称を含む科目は選択できません。</small> | 二次試験は行いません。 | 90人 | |
| | 総合学科 専門学科 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 英 数^{①②} 国 </div> <small>上記のうち、最も得点の高い1教科を採用します。 (外国語は英語のみ)</small> | 小論文 | 5人 |
| | 推薦入試 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 英 数^{①②} 国 </div> <small>上記のうち、最も得点の高い1教科を採用します。 (外国語は英語のみ)</small> | 面接は行いません。 推薦書と志望理由書が必要です。 | 90人 |
| 夜間主コース | 一般入試前期日程 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 外 数^{①②} 国 </div> | <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">英</div> <small>英語のリスニングは行いません。</small> </div> | 20人 | |
| | 推薦入試 | センター試験は課していません。 面接 小論文 推薦書と志望理由書が必要です。 | 20人 | |
| | 社会人入試 | センター試験は課していません。 面接 小論文 志願調書と志望理由書が必要です。 | 10人 | |

 は受験必須科目・項目を表します。

入試スケジュール

- 昼間コース (一般入試前期日程 / 専門学科・総合学科)
 - 夜間主コース (一般入試前期日程)
 - 10月上旬 大学入試センター試験出願期間
募集要項配布開始
 - 1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験
 - 1月25日(月)～2月3日(水) 出願期間
 - 2月25日(木) 個別学力検査等実施日
 - 3月7日(月) 合格発表
 - 3月8日(火)～15日(火) 入学手続き期間
-
- 昼間コース (一般入試後期日程)
 - 10月上旬 大学入試センター試験出願期間
募集要項配布開始
 - 1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験
 - 1月25日(月)～2月3日(水) 出願期間
 - 3月22日(火) 合格発表
 - 3月23日(水)～27日(日) 入学手続き期間
-
- 昼間コース (推薦入試)
 - 10月上旬 大学入試センター試験出願期間
募集要項配布開始
 - 1月14日(木)～21日(木) 出願期間
 - 1月16日(土)・17日(日) 大学入試センター試験
 - 2月5日(金) 合格発表
 - 2月8日(月)～17日(水) 入学手続き期間
-
- 夜間主コース (推薦入試 / 社会人入試)
 - 9月上旬 募集要項配布開始
 - 11月2日(月)～9日(月) 出願期間
 - 11月21日(土) 個別学力検査等実施日
 - 12月3日(木) 合格発表
 - 2月8日(月)～17日(水) 入学手続き期間
-
- 昼間コース
(帰国子女・中国引揚者等子女・私費外国人留学生入試)
 - 10月中旬 募集要項配布開始
 - 1月14日(木)～21日(木) 出願期間
 - 2月11日(木) 個別学力検査等実施日
 - 2月18日(木) 合格発表
 - 2月26日(金)～3月4日(金) 入学手続き期間



推薦入試について

- 高等学校1校からの推薦可能人数は、昼間コース4名、夜間主コース3名までです。
- 評定平均4.0以上が必要です。
- 昼間コース推薦・夜間主コース推薦の併願はできません。
- 資格の取得、各種活動実績がある場合、判定上有利になるケースがあります。

OpenCampus
オープンキャンパス

平成27年8月10日(月)

OUC ACCESS MAP

アクセスマップ



小樽商科大学へのアクセス

- JR新千歳空港駅からJR札幌駅まで約40分
- JR札幌駅からJR小樽駅まで約40分
- 「小樽駅前」ジェイアールバス②乗り場より中央バス小樽商大線に乗り、終点の「小樽商大前」下車（乗車時間約10分）
（バス料金220円、タクシーの利用は駅前から750円程度）



学生募集要項等の入手方法

- 本学のホームページから請求する場合**
本学のホームページから テレメールまたは「モパっちょ」を利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは小樽商科大学教務課入試室 HP (<http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyu1/>) をご覧ください。
- テレメール（インターネット）で請求する場合**
 <http://telemail.jp>
携帯電話各社、パソコンともアドレスは共通です。
携帯電話でQRコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。
- 大学情報センター「モパっちょ」で請求する場合**
 - 携帯電話を利用する場合** 携帯電話でQRコードを読み取りアクセスしてください。資料請求代金以外に、別途支払手数料等は必要ありません（パケット通信料は除く）。
 - パソコンの場合（クレジットカード決済のみとなりますが同じ料金で請求できます）**
【URL】 <http://djc-mb.jp/otaru-uc2/>
【モパっちょQRコード】
- 本学に直接請求する場合**
(1)～(3)によりがたい場合には、本学入試室へご請求ください。詳しくは小樽商科大学教務課入試室HPをご覧ください。入試室（0134-27-5254）に直接お問い合わせください。

平成21年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した「大学機関別認証評価」において、本学は大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしていると認められました。

大学機関別認証評価は、学校教育法に基づき、大学の教育研究水準の維持及び向上を図るとともに、その個性的で多様な発展に資することを目的として実施されたものであり、認定期間は、平成22年4月1日から平成29年3月31日までとなります。

国立大学法人
小樽商科大学
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

◎入学試験に関するお問い合わせは 小樽商科大学教務課入試室入学試験係まで
【TEL】0134-27-5254
【MAIL】nyushi@office.otaru-uc.jp
【HP】<http://www.otaru-uc.ac.jp>
【携帯サイト】<http://daigaku.jp/otaru-uc/>